

平成 21 年度
東京都がん検診受診率向上事業
取組事例報告書

東京都福祉保健局

目 次

はじめに

取組事業概要

第1章 立川市：「乳がん検診の未受診理由に応じたメッセージ送付による再受診勧奨」

第2章 足立区：「大腸がん検診の受診勧奨・再受診勧奨」

第3章 東村山市：「子宮がん検診/乳がん検診の受診勧奨・再受診勧奨」

第4章 練馬区：「練馬区民のがん検診受診状況等調査」

まとめ

添付資料

資料 1：（立川市）再受診勧奨で用いたリーフレット

資料 2：（立川市）従来の子宮・乳がん検診周知パンフレット

資料 3：（立川市）調査票

資料 4：（足立区）再受診勧奨で用いたリーフレット

資料 5：（足立区）調査票

資料 6：（東村山市）子宮がん検診の再受診勧奨で用いたリーフレット

資料 7：（東村山市）乳がん検診の再受診勧奨で用いたリーフレット

資料 8：（東村山市）調査票

資料 9：（練馬区）調査票

はじめに

東京都では、「東京都がん対策推進計画」において、平成 24 年度までにがん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）の受診率 50%を目指すことを目標としている。

本事業では、限りある資源を効果的かつ効率的に投入し、都民の生命を守るがん検診受診率 50%という目標を達成するための、効果的な受診率向上策を明らかにすることを目的とした。

平成 21 年度に、都内 4ヶ所の自治体において、東京都が提案したがん検診受診率向上策に基づき、医療保健政策区市町村包括補助事業を活用して受診率向上事業を実施し、その効果等について分析、検証を行った。

以下、具体的な取組内容とその効果について詳細を記す。

取組事業概要

先進諸外国の知見では、受診率向上対策として、地域住民に対する受診勧奨システム（Call-Recall System）が有効であることが報告されている。しかし、わが国における受診勧奨システムの有効性は明らかでない。

また、受診勧奨の際に、単に画一のメッセージを送付しても効果はなく、対象者毎に異なる心理特性に基づいた、最適なメッセージ開発を行うことの重要性が指摘されているものの、どのようなメッセージが有効であるのかは不明である。

そこで本事業では、東京都の提案に基づき実施された、立川市、足立区、東村山市における区市町村保健医療包括補助事業を活用したがん検診受診率向上事業（がん検診の受診勧奨・再受診勧奨や、住民特性に基づいたメッセージの開発等）について、その効果を分析した。また、練馬区では、再受診勧奨に合わせて、区民のがん検診受診状況等調査を実施した。

各取組の詳細については、本報告書の該当する章を参照のこと。

取組地区	事業内容	章
立川市	乳がん検診の未受診理由に応じたメッセージ送付による再受診勧奨	第1章
足立区	大腸がん検診の受診勧奨・再受診勧奨	第2章
東村山市	子宮がん検診及び乳がん検診の受診勧奨・再受診勧奨	第3章
練馬区	再受診勧奨兼がん検診受診状況等調査 がん検診・生活習慣病対策検討委員会の立ち上げ	第4章

第1章

立川市：「乳がん検診の未受診理由に応じたメッセージ送付による再受診勧奨」

1. 背景と目的

立川市における乳がん検診の広報手段は、平成 20 年度までは、主に広報紙（広報たちかわ）による周知であった。平成 21 年度には、50 代女性を対象として、個別受診勧奨と、検診未受診理由に応じたメッセージ送付による再受診勧奨を実施し、その効果を検証した。

2. 方法

1) 対象

乳がん検診について、51–59 歳女性（55 歳を除く）を対象とした。

これは、50 代の乳がん検診受診率が 40 代に比べ低迷していることによる。

（40 代 19.7%、50 代 15.4% 平成 19 年度地域保健・老人保健事業報告データ）

2) 方法

乳がん検診の未受診理由は、検診の内容や重要性についての認知や理解の不足、検診受診行動に結びつく情報の不足等、住民によって異なると推測される（図 1）。

そこで本事業では、受診勧奨時に、乳がん検診に関する意識や未受診理由等を調査し、その特性に応じたメッセージを送付するきめ細かな再受診勧奨を行うこととした。

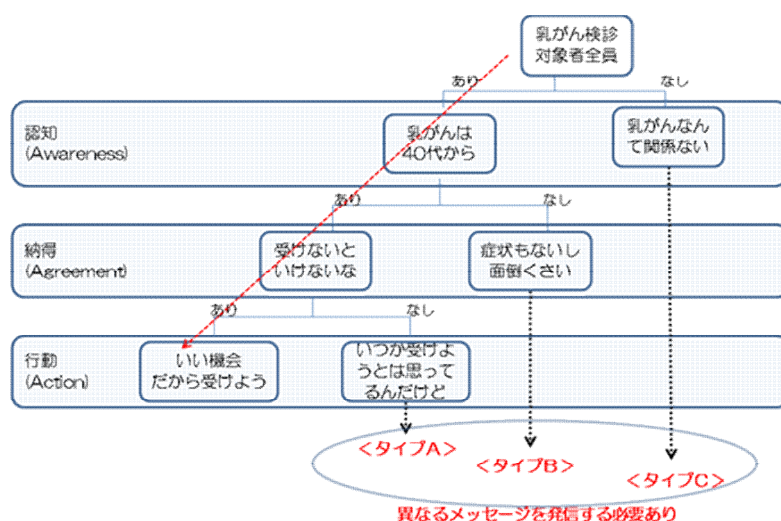


図 1. 事業の考え方

3) 事業の流れ

平成 21 年 10 月 3 日に、対象者約 8,100 名に受診勧奨と調査票を個別送付した。10 月 23 日に調査票回収を締め切り、3,236 名（回収率：約 40%）から回答を得た。2 年以内に乳がん検診を受診していない者を、再受診勧奨の対象とした（図 2）。

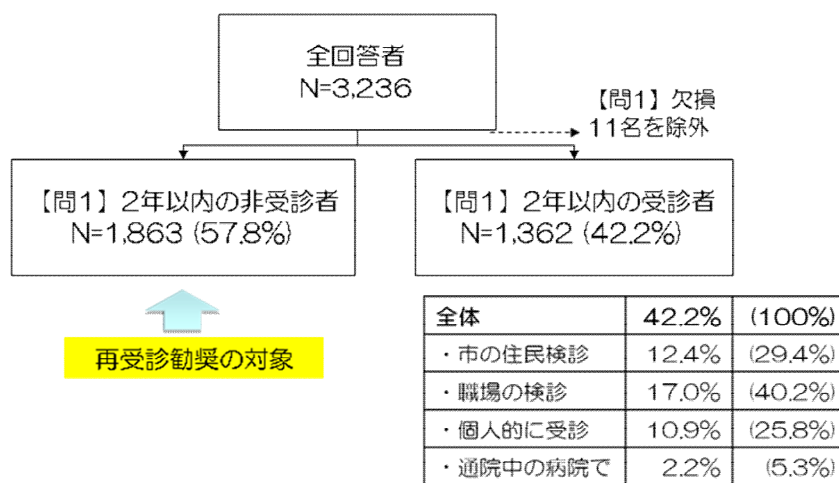


図 2. 再受診勧奨の対象者の選定

再受診勧奨の対象者を、調査結果に基づき、A～Cのグループに分けた（図 3）。なお、グループの分類に用いた調査票は、添付資料 3 に示した。

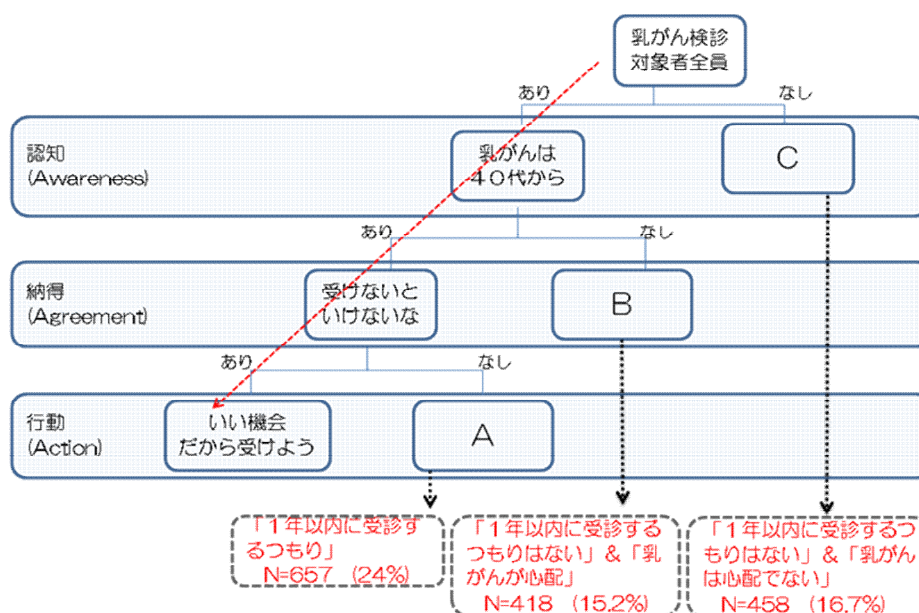


図 3. 再受診勧奨の対象者のグループ分け

その後、再受診勧奨対象者を2群（介入群と対照群）に分け、介入群には、3つのグループに、その特性に応じたメッセージを作成、送付した（図4）。比較対照群には、従来市が送付している一般的なメッセージを送付した。

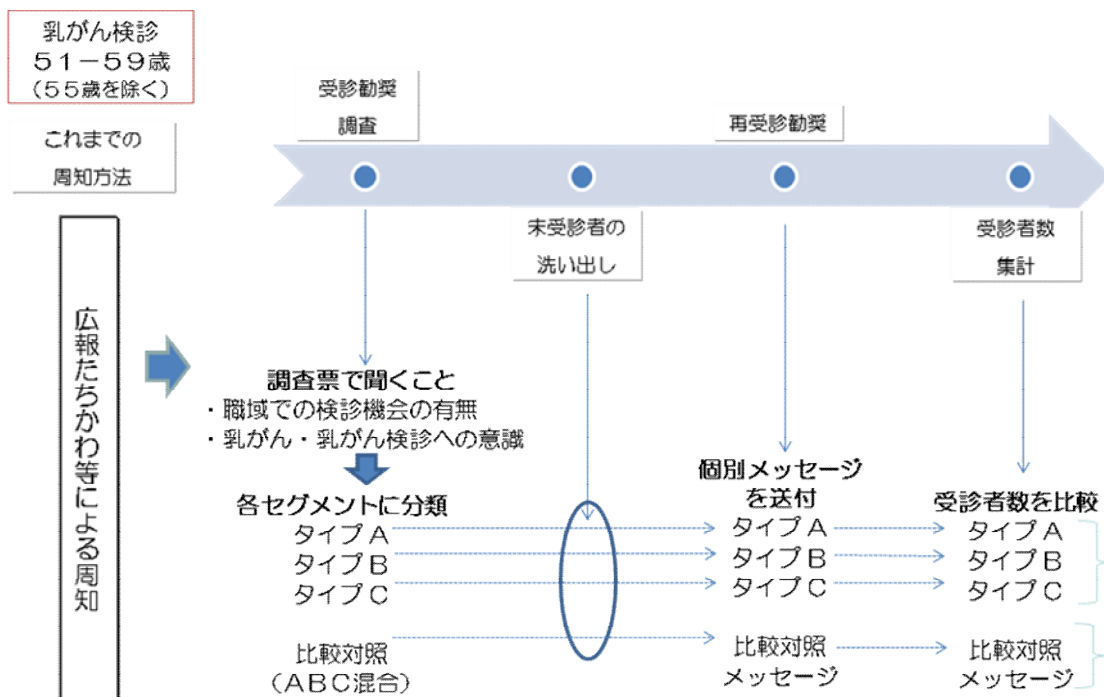


図4. 事業の流れ

3. 結果

1) 未受診理由によるグループ分け

未受診の理由により3つのグループに分けた結果を、図5に示す。

グループAは、「この1年以内に受診するつもりがある」と回答した住民で、363名(11.2%)であった。

グループBは、「この1年以内に受診するつもりがない&乳がんが心配」と回答した住民で、505名(15.6%)であった。

グループCは、「この1年以内に受診するつもりがない&乳がんが心配でない」と回答した住民で、520名(16.1%)であった。

各グループの特性に応じて作成した3種類のメッセージ(添付資料6)を送付した。

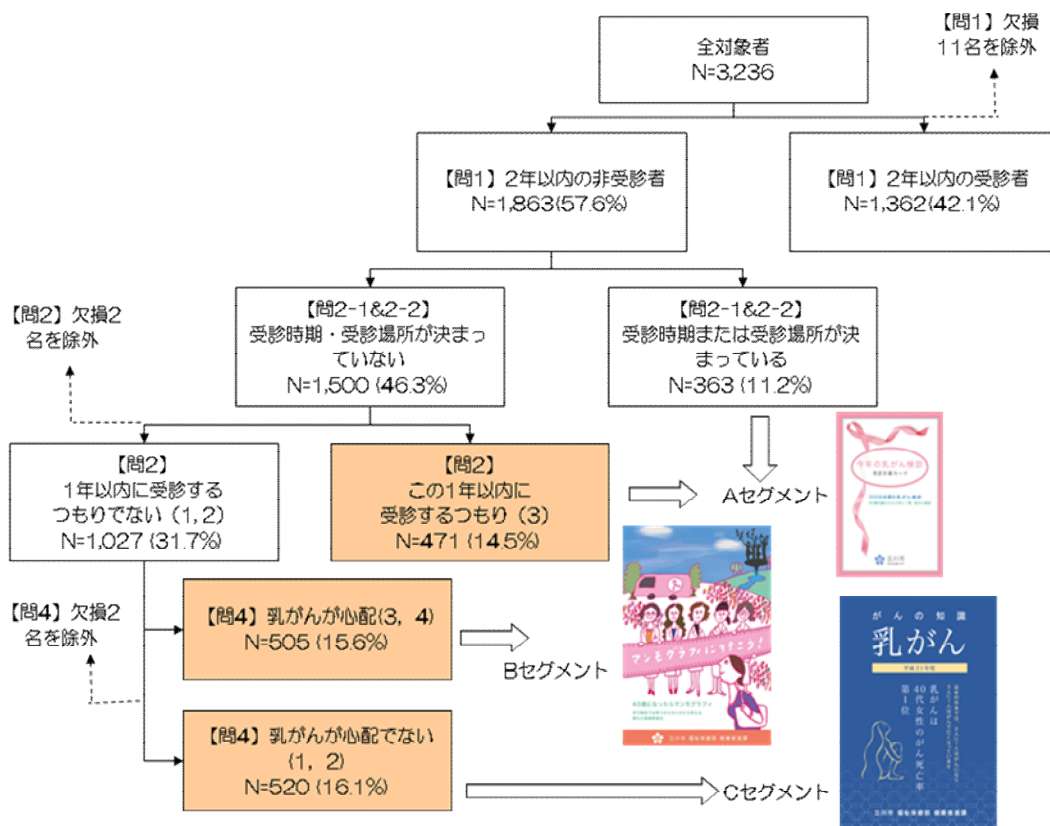
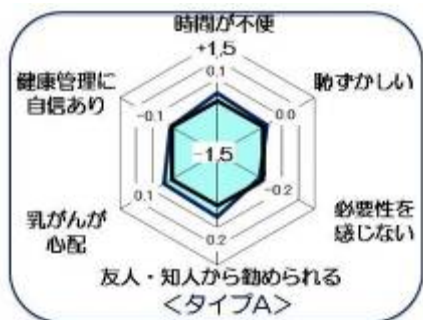


図5. 検診未受診理由による3つのグループ

2) グループごとの特徴

調査対象者の、乳がん検診に関する意識や未受診理由等の特徴を図6に示す。



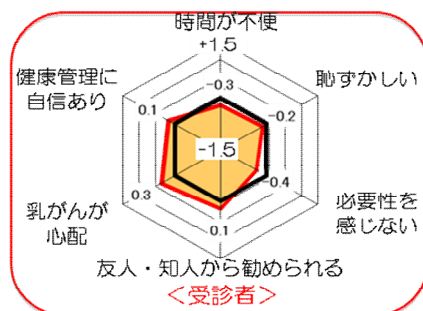
グループAは、「乳がんが心配」、「知人・友人から検診受診を勧められている」と回答する傾向がみられた。



グループBは、「乳がんが心配」「時間が不便」、「恥ずかしい」、「必要性を感じない」と回答する傾向がみられた。



グループCは、「乳がんが心配と思わない」「必要性を感じない」と回答する傾向がみられた。

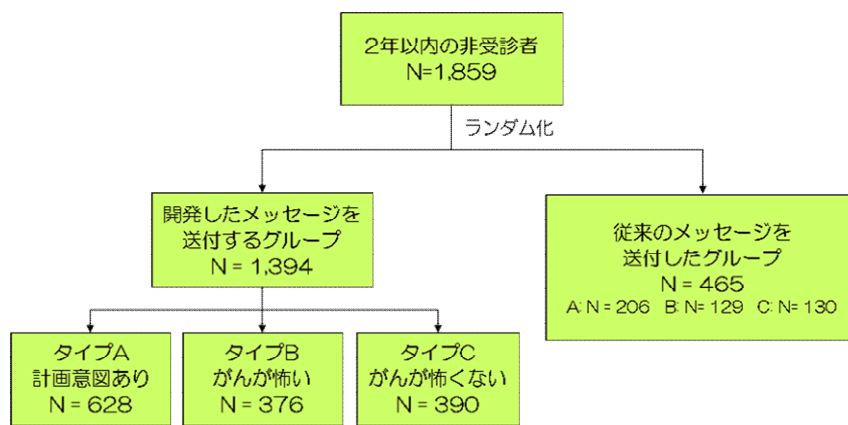


検診受診者は、「健康に自信があり」、「乳がんが心配」、「必要性を感じている」と回答する傾向がみられた。

図6. グループ別の乳がん、乳がん検診に関する意識

3) 未受診理由に応じたメッセージ送付による再受診勧奨

3グループごとに、検診未受診理由に応じたメッセージを3案開発し、再受診勧奨を行った(図7)。比較対象群には、従来、市で送付していた一般的なメッセージを送付した。



結果：受診率に有意差があるか？

図7. 再受診勧奨の内容

4) 再受診勧奨の結果

再受診勧奨の結果を図8に示す。グループの特性に応じたメッセージを送付した介入群における受診率(19.9%)は、一般的なメッセージを送付した比較対象群(5.8%)の約3倍であった。なお、受診率の算出は、本事業で行ったアンケート回答者を母数としている。

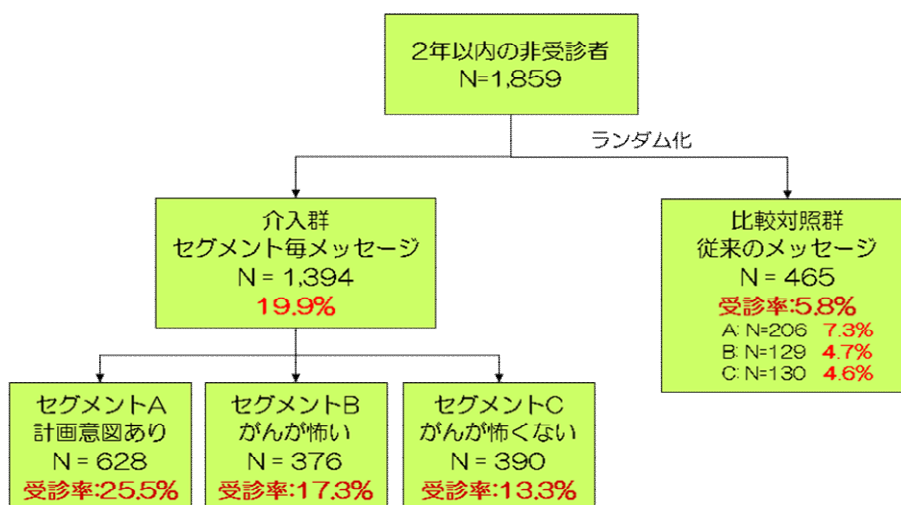


図8. 再受診勧奨の受診率への効果

4. 考察

1) 個別受診勧奨及び再受診勧奨の効果

本事業において、個別受診勧奨と再受診勧奨を行ったところ、受診率が大幅に増加した。また、立川市全体としての乳がん検診受診者数も、前年度比 173%の伸び率を示した。

その理由として、個別受診勧奨・再受診勧奨を行うことによって、これまで検診を受けたことがない住民層に対して、大きな受診促進効果があったためと考えられる。

2) ターゲットごとに異なる情報ニーズの存在

これまで、がん検診の周知は対象者全体に画一的に行われていた。しかし今回、がん検診に対する意識や求める情報は住民ごとに異なり、その特徴からいくつかのグループに分けられることが分かった。グループ分けしたターゲットごとに、それぞれの特性に応じた最適な受診勧奨メッセージを開発することが重要であると考えられる。

3) ターゲットを特定した受診勧奨・再受診勧奨の必要性

今回、グループ分けしたターゲットごとに、その特性に応じたメッセージによる個別再受診勧奨を実施した結果、従来の画一的なメッセージを送付する方法に比べ飛躍的にがん検診の申込率、受診率が向上した。

今後、少なくとも年度ごと、又は半期ごとにターゲットを定め、全てのターゲットを 1-2 年かけて順番にカバーしていく受診勧奨・再受診勧奨を行うことで、受診率は飛躍的に向上すると考えられる。

第2章

足立区：「大腸がん検診の受診勧奨・再受診勧奨」

1. 背景と目的

足立区における大腸がん検診の広報手段は、平成20年度までは、主に区報やパンフレット等による周知であった。平成21年度は、50歳の区民を対象として、個別受診勧奨および再受診勧奨からなる事業を実施し、その効果を検証した。また、今後の受診率向上対策の基礎資料を得るために、対象者に再受診勧奨を兼ねたアンケート調査を行った。

2. 方法

1) 対象者

足立区内在住の50歳の男女計7,618名を対象とした。

2) 事業の流れ

受診勧奨・再受診勧奨の流れを図1に示す。

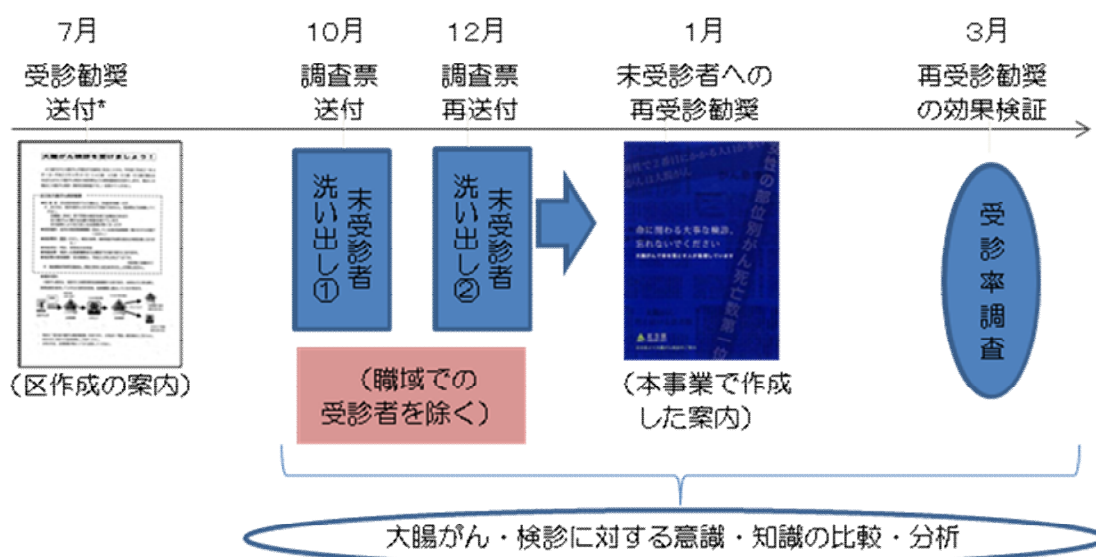


図1. 受診勧奨・再受診勧奨の流れ

3) スケジュール

平成21年 7月 3日	受診勧奨の実施
平成21年 10月14日	未受診者把握のための調査票送付（1回目）
平成21年 12月 3日	未受診者把握のための調査票送付（2回目）
平成22年 1月 7日	再受診勧奨の実施
平成22年 4月	平成22年3月までの受診状況を最終集計

アンケート調査については、最終的に、男性は 1,151 名（回収率：58.2%）、女性は 1,116 名（回収率：41.8%）の計 2,817 名（回収率：37.0%）から回答を得た。

3. 結果

1) 結果の概要

受診勧奨・再受診勧奨の効果を図2に示す。

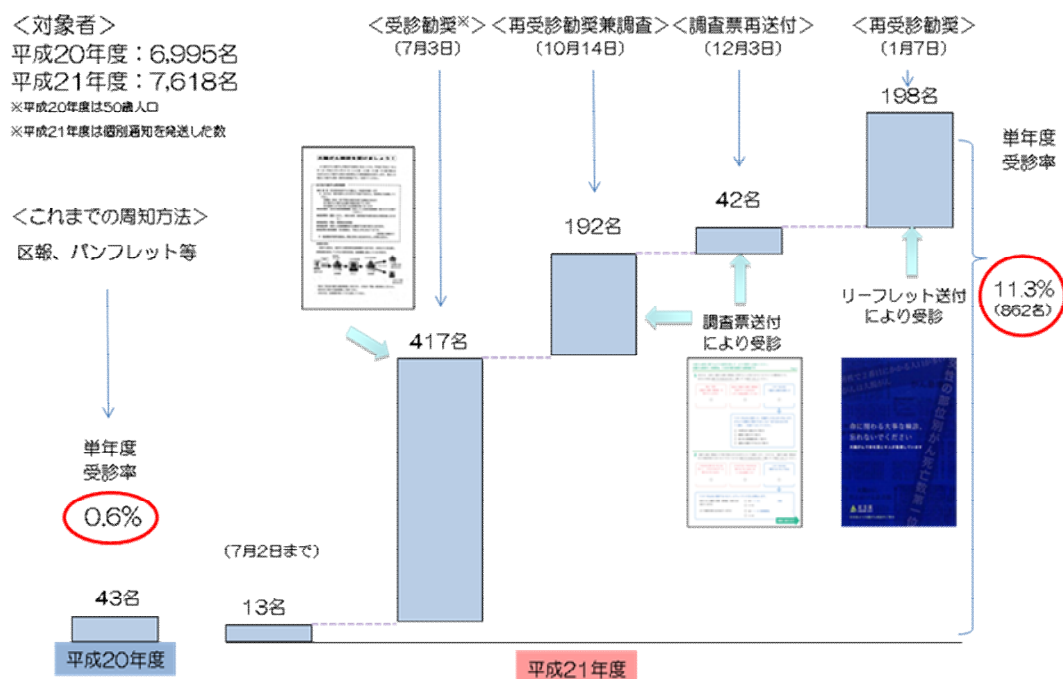


図2. 受診勧奨・再受診勧奨の効果

50歳区民の大腸がん検診受診率は、平成20年度が0.6%であったのに対して、受診勧奨・再受診勧奨を行った平成21年度は11.3%と、約19倍となった。

2) アンケート回答者の属性

アンケート回答者の属性を表 1 に示した。

表 1. アンケート回答者の属性

	n	%
性別		
男性	1280	46.4
女性	1480	53.6
配偶者		
あり	1976	72.9
なし	734	27.1
職業		
あり	2256	81.8
なし	503	18.2
大腸がんの家族歴		
あり	325	11.8
なし	2407	87.5
答えたくない	20	0.7
暮らし向き		
かなり苦しい	385	13.4
やや苦しい	712	24.9
普通	1374	48.0
やや苦しい余裕がある	274	9.6
余裕がある	59	2.1
答えたくない	60	2.1
腸や肛門などの病気		
なし	1850	63.7
大腸ポリープ	129	4.4
痔	836	28.8
潰瘍性大腸炎	39	1.3
大腸がん	51	1.8
答えたくない	53	1.8

表 1. アンケート回答者の属性（続き）

	n	%
医療保険		
組合健保	1517	52.9
国民健康保険	896	31.2
協会健保	129	4.5
共済健保	259	9.0
船員保険	1	0
退職者医療制度	5	0.2
長寿医療制度	0	0
いずれの保険にも未加入	43	1.5
分からない	19	0.7
保険の加入状況		
本人	2013	71.4
被扶養者	743	26.4
分からない	63	2.2
大腸がん検診を受ける制度の有無		
制度がある	1112	39.1
制度がない	1005	35.3
分からない	490	17.2
勤めていない	238	8.4

3) 過去の大腸がん検診の受診歴と受診機会

過去の大腸がん検診の受診歴と受診機会を分析した（表 2）。

過去の大腸がん検診の受診歴は、「この 1 年以内に大腸がん検診を受診した」が最も多く 40.0%、以下、「過去 1 度も大腸がん検診を受けたことがない」が 38.1%、「過去に大腸がん検診を受けたことはあるが、この 1 年間は受診していない」が 21.5%、と続いた。

また、受診機会は、「職場から案内されて受けた」が最も多く 63.5%、以下、「区市町村から案内されて受けた」が 22.7%、「個人的に医療機関を探して受けた」が 10.1%、「通院中の病院で勧められて受けた」が 3.7%、と続いた。

表 2. 過去の大腸がん検診の受診歴と受診機会

	n	%
過去 1 度も大腸がん検診（便検査）を受けたことがない	1107	38.1
過去に大腸がん検診を受けたことはあるが、この 1 年間は受診していない	623	21.5
この 1 年以内に大腸がん検診を受診した	1163	40.0
欠損値	11	0.4
区市町村から案内されて受けた	264	22.7
職場から案内されて受けた	739	63.5
個人的に医療機関を探して受けた	117	10.1
通院中の病院で勧められて受けた	43	3.7
合計	2904	100

4) 過去の大腸がん検診の受診歴と今後の受診意図

今度の大腸がん検診の受診意図について分析した（表 3）。

その結果、「この 1 年以内に受診するつもりである」が最も高く 55.8%、以下、「これから先 1 年以内には受けるつもりはないがいつかは受診したい」が 39.4%、「1 年以内に受けるつもりはないし、これから先もずっと受けるつもりはない」が 4.0%、と続いた。

また、「この 1 年以内に受診するつもりである」回答者の中で、「いつ受けるか決めている」のは 57.3%、「どこで受けるか決めている」のは 52.9%であった。

表 3. 今後の大腸がん検診の受診意図

	n	%
1 年以内に受けるつもりはないし、これから先もずっと受けるつもりはない	116	4.0
これから先 1 年以内には受けるつもりはないがいつかは受診したい	1145	39.4
この 1 年以内に受診するつもりである	1619	55.8
欠損値	24	0.8
(受診するつもりの人に対して) いつ受けるか決めている	918	57.3
(受診するつもりの人に対して) どこで受けるか決めている	852	52.9
合計	2904	100

また、過去の受診歴別に今後の大腸がん検診の受診意図について分析した（表 4）。

「この 1 年以内に大腸がん検診を受診した」回答者が受診意図が最も高く 78.5%であり、以下、「過去に大腸がん検診を受けたことはあるが、この 1 年間は受診していない」回答者の中で 52.5%、「過去 1 度も大腸がん検診を受けたことがない」回答者の中で 35.1%、と続いた。

過去の受診機会別に見ると、「職場から案内されて受けた」回答者が受診意図が最も高く 89.6%であり、以下、「個人的に医療機関を探して受けた」が 77.6%、「通院中の病院で勧められて受けた」が 62.8%、「区市町村から案内されて受けた」49.0%、と続いた。

表 4. 過去の受診歴・受診機会別にみた今後の大腸がん検診の受診意図あり

	受診意図		合計
	あり	なし	
過去 1 度も大腸がん検診（便検査）を受けたことがない	387 (35.1%)	716 (64.9%)	1103 (100%)
過去に大腸がん検診を受けたことはあるが、この 1 年間は受診していない	327 (52.5%)	296 (47.5%)	623 (100%)
この 1 年以内に大腸がん検診を受診した	902 (78.5%)	247 (21.5%)	1149 (100%)
欠損値			29
区市町村から案内されて受けた	127 (49.0%)	132 (51.0%)	259 (100%)
職場から案内されて受けた	655 (89.6%)	76 (10.4%)	731 (100%)
個人的に医療機関を探して受けた	90 (77.6%)	26 (22.4%)	116 (100%)
通院中の病院で勧められて受けた	27 (62.8%)	16 (37.2%)	43 (100%)
合計	1619	1285	2904

5) 大腸がん及び大腸がん検診に対する意識

大腸がんと大腸がん検診に対する意識を、受診歴、受診機会別に表5に示す。

「大腸がんのかかりやすさ」と「大腸がん検診のデメリット」については、受診歴がある人のほうが、受診歴がない人より認識度が高かった。「大腸がんの深刻さ」や「大腸がん検診のメリット」については、受診歴や受診機会による差が認められなかった。

表 5. 受診歴/受診機会別の大腸がん/大腸がん検診に対する意識

表示は、平均（標準偏差）	大腸がんのかかりやすさ (範囲:3-15)	大腸がんの深刻さ (範囲:6-30)	大腸がん検診のメリット (範囲:5-25)	大腸がん検診のデメリット (範囲:9-45)
過去1度も大腸がん検診（便検査）を受けたことがない	7.49(2.40) ^a	22.25(4.66)	19.85(3.26)	30.63(7.43) ^x
過去に大腸がん検診を受けたことはあるが、この1年間は受診していない	8.00(2.41) ^b	22.28(4.56)	19.65(3.29)	33.05(7.37) ^y
この1年以内に大腸がん検診を受診した	7.89(2.24) ^c	21.87(4.23)	19.45(3.40)	37.15(6.94) ^z
区市町村から案内されて受けた	7.84(2.16)	22.37(4.49)	19.93(3.35) ^s	36.39(6.90)
職場から案内されて受けた	7.81(2.21)	21.65(4.10) ^p	19.27(3.39) ^t	37.64(6.94)
個人的に医療機関を探して受けた	8.29(2.30)	21.47(4.08) ^q	19.55(3.36)	37.24(6.64)
通院中の病院で勧められて受けた	8.29(2.90)	23.69(4.58) ^r	19.47(3.74)	34.17(7.19)
合計	7.76(2.35)	22.11(4.47)	19.65(3.32)	33.77(7.79)

- * 分散分析の結果、aとb、aとcとの差が、1%水準で統計学的に有意であった。
- * 分散分析の結果、pとr、qとrの差が5%水準で統計学的に有意であった。
- * 分散分析の結果、xとyとzのそれぞれの差が、1%水準で統計学的に有意であった。
- * 分散分析の結果、sとtとの差が5%水準で統計学的に有意であった。

6) 大腸がんの危険因子に対する知識

大腸がんの危険因子に関する知識を、過去の受診歴別・受診機会別に表6に示す。

大腸がんの危険因子に対する知識については、「大腸がんポリープ」が50.4%と最もよく知られており、次いで、「家族歴」が44.6%、「加齢」が24.7%、「運動不足」が18.1%と続いた。

受診歴別では、受診歴がある人は、ない人よりも、危険因子についてよく知っている傾向がみられた。受診機会別では、「区市町村」や「職場」による違いはほとんどなく、「個人的に受診」や「通院中の病院で勧められた」場合には、危険因子についてよく知っている傾向が見られた。

表6. 過去の受診歴別・受診機会別の大腸がんの危険因子に関する知識

表示はパーセンテージ	加工肉	お酒	加齢	家族歴	肥満	大腸 ポリープ	運動 不足
過去1度も大腸がん検診（便検査）を受けたことがない	10.2	11.7	20.1	38.9	14.0	44.7	16.8
過去に大腸がん検診を受けたことはあるが、この1年間は受診していない	12.9	15.3	23.2	44.8	15.6	55.2	19.2
この1年以内に大腸がん検診を受診した	13.2	16.3	29.8	49.7	14.6	53.3	18.9
区市町村から案内されて受けた	8.8	15.9	26.0	50.0	12.7	47.8	15.1
職場から案内されて受けた	14.1	15.8	30.1	48.2	14.5	52.8	19.1
個人的に医療機関を探して受けた	17.6	18.7	34.6	52.3	15.9	66.4	22.4
通院中の病院で勧められて受けた	15.0	22.5	35.0	65.0	20.0	55.0	30.0
合計	12.0	14.3	24.7	44.6	14.6	50.4	18.1

7) 受診勧奨・再受診勧奨の効果

区が実施する住民検診の対象者と考えられる「勤めている会社には大腸がん検診を受ける制度がない」と回答した 1,733 名の、最終的な受診率は 24.4% (423 名) であった (図 3)。

今回未受診の 1,302 名の検診受診意図をみると、40.3% (526 名) が「この 1 年以内に受診するつもり」、52.9% (689 名) が「いつか受診したい」と回答していた。「受診するつもりはない」は、6.7% (87 名) であった。

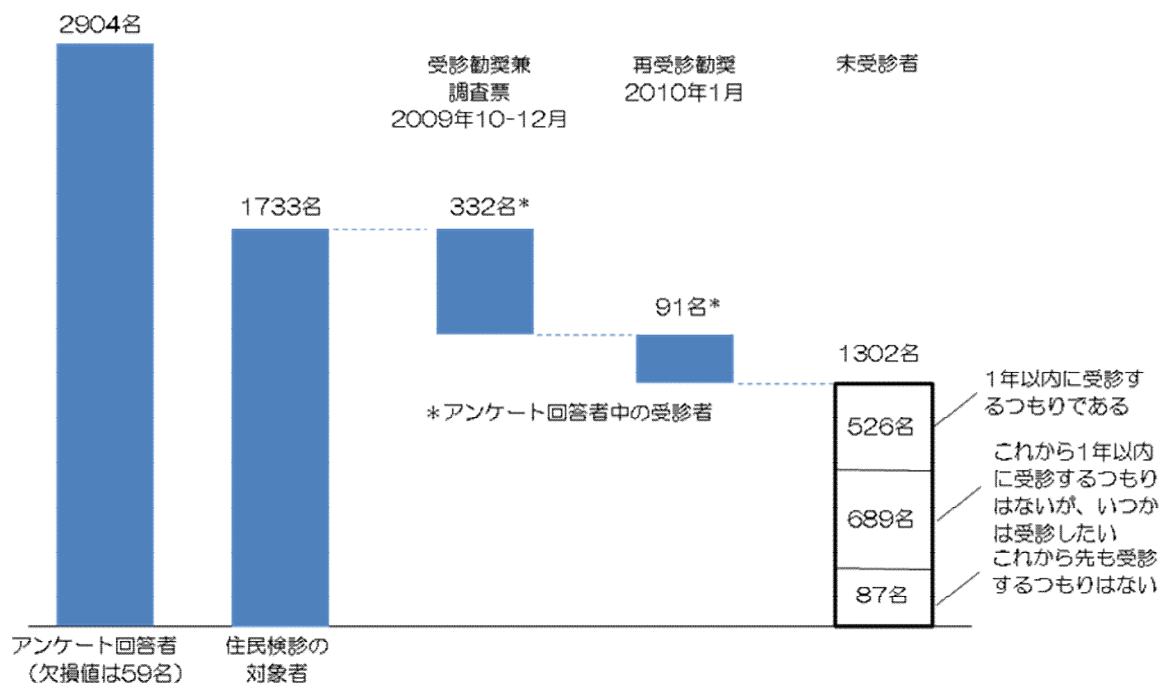


図 3、対象者の大腸がん検診受診状況

4. 考察

1) 個別受診勧奨・再受診勧奨による顕著な受診率向上

対象者への受診勧奨の個別通知により、検診受診者は増加し、受診率は向上した。さらに、調査の実施と未受診者への再受診勧奨により、さらに受診者が増加し、受診率は昨年度と比較して19倍と飛躍的に向上した。

従来の区報等による周知のみでは、区が実施する大腸がん検診の存在を認知していない区民も多いと推測され、個別通知により、初めて自分が受けられる検診があることを知り、受診につながったことも受診率向上の原因と考えられる。

2) 職場検診の受診者と区の検診受診者の意識の違い

翌年の大腸がん検診の受診意図については、「職場から案内されて受けた」と回答した人では90%近いのに対し、「区市町村から案内されて受けた」と回答した人では、49%と低かった。この差は、「検診の受けやすさ」や「受診勧奨の具体的な内容や方法」の違いや、「職場における働きかけの有効性」等によるものと推測される。今後、区の検診においても、受診勧奨等がより効果的となる方法を開発することの重要性が示唆された。

3) 受診行動につなげる検診体制の工夫

「この1年以内に受診するつもりである」と回答した人が6割近いにも関わらず、実際に過去1年間に受診した人は約4割にとどまっていた。

受診率向上のためには、検診受診意図のありながら未受診の住民に積極的に働きかけることが重要であり、個別受診勧奨・再受診勧奨に加え、申込み方法の工夫や、受診しやすい体制づくりを進めるべきと考えられる。

第3章

東村山市：「子宮がん検診及び乳がん検診の受診勧奨・再受診勧奨」

1. 背景と目的

東村山市における子宮がん、乳がん検診の広報手段は、平成20年度までは、主に広報紙、健康ガイド、健康診査時の情報提供等による周知であった。平成21年度は、個別受診勧奨と再受診勧奨を実施し、その効果を検証した。

2. 方法

1) 対象者

子宮がん検診については、若年層の受診率が低迷していることから、24歳、25歳、30歳女性を対象にした。

乳がん検診については、乳がん検診のスタート年齢である、40歳女性を対象とした。

2) 事業の狙い

個別受診勧奨に加え、再受診勧奨を行うことで、がん検診に消極的な住民層（がん発見率が高い可能性があるハイリスク層）にも、受診を促すことができると想定した（図1）。

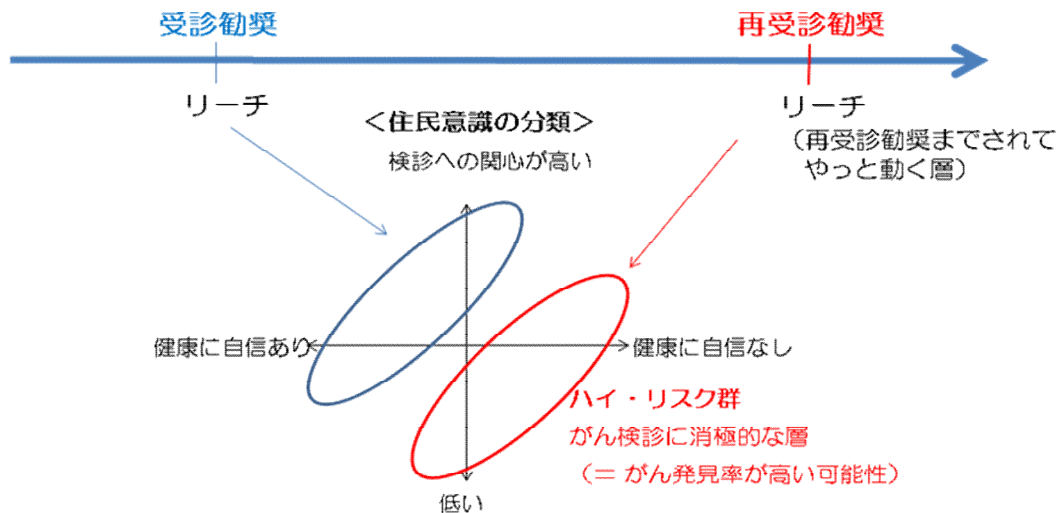


図1. 事業の狙い

3) 事業内容

対象者に行った取組を、表 1 に示す。

平成 21 年度には、国事業の「女性特有のがん検診推進事業」（以下「国事業」と言う。）により、子宮がん検診では、20・25・30・35・40 歳、乳がん検診では、40・45・50・55・60 歳女性を対象に、検診の無料クーポンと検診手帳を、平成 21 年 11 月に個別送付した。

これに加えて、市の独自事業として、無料クーポンと検診手帳を送付（国事業）した子宮がん検診の 25・30 歳、乳がん検診の 40 歳の未受診者を対象に、平成 22 年 1 月に再受診勧奨を実施した。

また、子宮がん検診については、24 歳女性を対象に、検診手帳の個別送付による受診勧奨を実施し、それぞれの取組みの効果を検証した。

なお、効果の検証にあたっては、通常を受診率算出方法ではなく、単年度ベースの受診率を算出した。

表 1. 対象者に対して行った介入

対象	平成 21 年度の介入		
	個別受診勧奨		再受診勧奨
	無料クーポン	検診手帳	リーフレット
24 歳 子宮がん		○	
25 歳 子宮がん	○	○	○
30 歳 子宮がん	○	○	○
40 歳 乳がん・子宮がん	○	○	○

注) 網掛け部は、国事業による。



図 2. 事業の流れ

なお対象者は、市が従来行っているがん検診受診のお知らせに触れる機会があった。具体的には、全世帯に配布される市報（検診開始 2 か月前と検診期間中の 2 回）と健康ガイド（4 月 1 日）による検診のお知らせ、あるいは、健康教室や健診時における情報提供等である。

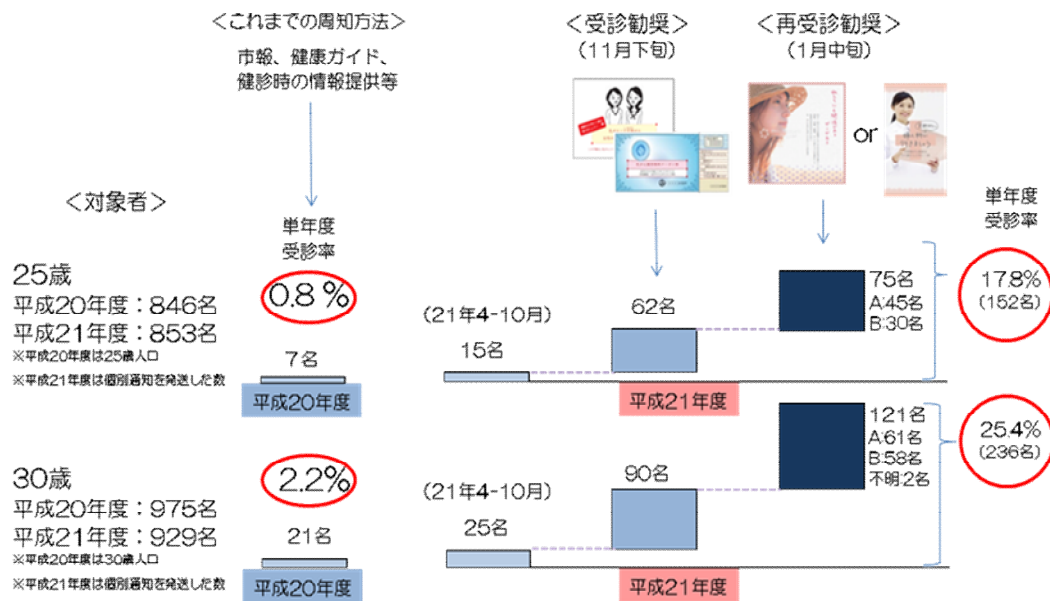
4) スケジュール

平成 21 年 11 月下旬	受診勧奨の実施
平成 22 年 1 月中旬	再受診勧奨の実施
平成 22 年 4 月	平成 22 年 3 月までの受診状況を最終集計

3. 結果

1) 25歳・30歳女性に対する受診勧奨・再受診勧奨の効果

25歳、30歳女性を対象とした、子宮がん検診の受診勧奨（検診手帳＋無料クーポンの送付）と再受診勧奨（リーフレット送付）による受診率の状況を、図3に示す。



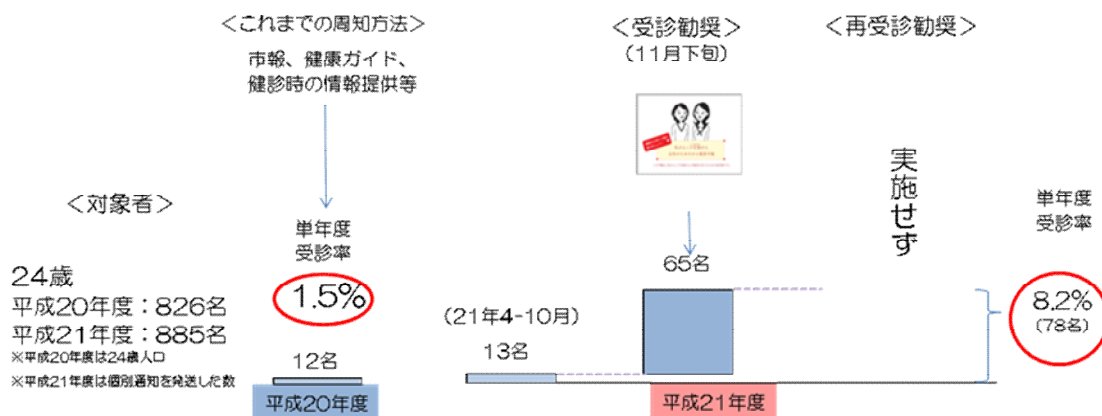
(受診率は、通常の受診率算出方法ではなく、単年度ベースの受診率を算出した)

図3. 子宮がん検診の受診勧奨・再受診勧奨の効果

子宮がん検診受診率は、平成20年度（自己負担あり・個別受診勧奨なし）には、25歳で0.8%、30歳で2.2%であったのに対して、無料検診、個別受診勧奨・再受診勧奨を行った平成21年度は、25歳で17.8%（約22倍）、30歳で25.4%（約12倍）と飛躍的に向上した。

2) 24歳女性に対する受診勧奨の効果

24歳女性を対象とした子宮がん検診の受診勧奨(検診手帳送付)による受診率の状況を、図4に示す。



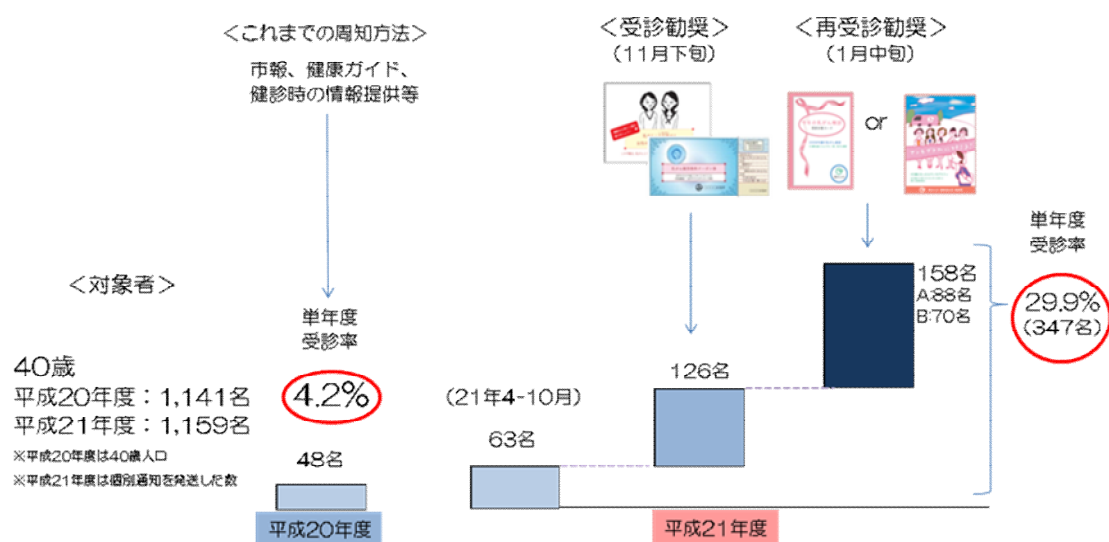
(受診率は、通常の受診率算出方法ではなく、単年度ベースの受診率を算出した)

図4. 子宮がん検診の受診勧奨の効果

24歳の子宮がん検診受診率は平成20年度(自己負担あり・個別受診勧奨なし)に1.5%であったが、平成21年度(自己負担あり・個別受診勧奨実施)は8.2%と、受診率は約6倍となった。

3) 40歳女性に対する受診勧奨・再受診勧奨の効果

40歳女性を対象とした乳がん検診の受診勧奨（検診手帳＋無料クーポンの送付）と再受診勧奨（リーフレット送付）による受診率の状況を、図5に示す。



(受診率は、通常の見込み率算出方法ではなく、単年度ベースの見込み率を算出した)

図 5. 乳がん検診の受診勧奨・再受診勧奨の効果

40歳の乳がん検診の見込み率は、平成20年度(自己負担あり・個別見診勧奨なし)には4.2%であったのに対して、無料検診、個別見診勧奨・再見診勧奨を実施した平成21年度は29.9%と、見込み率は約7倍に向上した。

4) 手法の違いによる受診率への影響（子宮がん検診）

子宮がん検診の受診率向上に資する対策を、介入手法別に、介入群（勧奨あり）と対照群（勧奨なし）とで比較した（表2）。無料クーポンの20歳代以外の全ての介入群で、受診率は対照群を上回った。

表2. 子宮がん検診の介入手法別の受診率の状況

	勧奨なし (対照群)	勧奨あり (介入群)	受診率の差
再受診勧奨			
20代 (H21.20歳 vs H21.25歳)	6.7%	17.8%	+11.1%
30代 (H21.35歳 vs H21.30歳)	24.6%	25.4%	+0.8%
受診勧奨（無料クーポン）			
20代 (H21.24歳 vs H21.20歳)	8.8%	6.7%	-2.1%
20代 (H21.24歳 vs H21.25歳)	8.8%	17.8%	+9.0%
受診勧奨（検診手帳）			
20代 (H20.24歳 vs H21.24歳)	1.5%	8.8%	+7.3%
受診勧奨（無料クーポン+検診手帳）			
20代 (H20.20歳 vs H21.20歳)	0.7%	6.7%	+6.0%
30代 (H20.35歳 vs H21.35歳)	2.9%	24.6%	+21.7%
受診勧奨（無料クーポン+検診手帳）+再受診勧奨			
20代 (H20.25歳 vs H21.25歳)	0.8%	17.8%	+17.0%
30代 (30歳)	2.2%	25.4%	+23.2%

（受診率は、通常受診率算出方法ではなく、単年度ベースの受診率を算出した）

○再受診勧奨

介入群の受診率は、20歳代で11.1%、30歳代で0.8%、対照群を上回った。

○無料クーポン

20歳の介入群の受診率は、24歳の対照群を2.1%下回ったが、25歳の介入群は9.0%上回った。

○検診手帳

20歳の介入群の受診率は、7.3%対照群を上回った。

○無料クーポン+検診手帳

介入群の受診率は、20歳で6.0%、35歳で21.7%対照群を上回った。

○再受診勧奨+無料クーポン+検診手帳

介入群の受診率は、25歳で17.0%、30歳で23.2%対照群を上回った。

5) 手法の違いによる受診率への影響（乳がん検診）

乳がん検診の受診率を、介入手法別に、介入群（勧奨あり）と対照群（勧奨なし）とで比較した（表3）。

表 3. 乳がん検診の介入手法別の受診増加の状況

	勧奨なし (対照群)	勧奨あり (介入群)	受診率の差
再受診勧奨			
40代 (H21.45歳 vs H21.40歳)	20.4%	29.9%	+9.5%
受診勧奨（無料クーポン+検診手帳）			
40代 (H20.45歳 vs H21.45歳)	6.0%	20.4%	+14.4%
50代 (H20.50歳 vs H21.50歳)	5.3%	23.7%	+18.4%
受診勧奨（無料クーポン+検診手帳）+再受診勧奨			
40代 (H20.40歳 vs H21.40歳)	4.2%	29.9%	+25.7%

（受診率は、通常受診率算出方法ではなく、単年度ベースの受診率を算出した）

○再受診勧奨

再受診勧奨では、介入群の受診率が、9.5%対照群を上回った。

○無料クーポン+検診手帳

無料クーポン+検診手帳の組合せでは、介入群の受診率が、45歳で14.4%、50歳で18.4%対照群を上回った。

○再受診勧奨+無料クーポン+検診手帳

再受診勧奨+無料クーポン+検診手帳の組合せでは、介入群の受診率が対照群を25.7%上回った。

4. 考察

1) 個別受診勧奨および再受診勧奨の効果

個別受診勧奨および再受診勧奨によって、受診者数が大幅に増加した。二度の受診勧奨が、これまで受診経験がなかった住民層にも受診促進効果があったことと考えられる。

2) 若年層への直接的アプローチの効果

子宮がん検診では、若年層受診率の低迷が多くの区市町村の課題である。若年層の住民へのアプローチは、従来、区市町村で行っている広報紙等による周知では届きにくく、今回、メッセージ性の強いリーフレットを個別送付したことで、申込数が大幅に増えた。

このことから、介入方法の工夫により、アプローチが難しいとされる若年層に対しても、受診行動に結び付けられることが明らかになった。

第4章

練馬区：「練馬区民のがん検診受診状況等調査」

1. 背景と目的

区民のがん検診に対する関心度と、受診意識および受診率との関連性を把握するとともに、年代ごとの検診受診機会を把握することで、東京都の定める受診率 50%の達成に向けた課題を把握し、住民検診の受診率目標値の設定に役立てる。

2. 方法

1) 調査期間

調査は平成 21 年 12 月 10 日から平成 21 年 12 月 31 日まで実施した。

2) 調査対象および回収状況

練馬区内に居住する年齢区分①30～39 歳、②40～49 歳、③50～59 歳、④60～69 歳の男女各 500 人の計 4,000 人を無作為に抽出し、調査票の郵送配布・郵送回収を実施した。

その結果、男性 525 人（回収率：26.3%）、女性 713 人（回収率：35.7%）の計 1,238 人（回収率：31.0%）から有効回答を得た。

表 1. 標本数および回収状況

	男性		女性		合計	
	発送数	回収数 (回収率)	発送数	回収数 (回収率)	発送数	回収数 (回収率)
30～39 歳	494	78 (16%)	499	146(29%)	993	224 (23%)
40～49 歳	492	104(21%)	499	170(34%)	991	274 (28%)
50～59 歳	499	154(31%)	500	173(35%)	999	327 (33%)
60～69 歳	497	189(38%)	497	224(45%)	994	413 (42%)
有効回答数	1,982	525(26%)	1,995	713(36%)	3,977	1,238 (31%)

* 性別無回答、データ欠損の 7 通を含まない

3. 結果

1) 受診率

40代以上の男女におけるがん検診の受診率を表2に示す。

受診率は男性、女性共に平均33.1%であり、都の目標（50%）とは16.9ポイントの開きがあった。

表2. がん検診受診率（全がん平均）

	男性	女性
40代以上	33.1%	33.1%

男性のがん検診受診率をがん別に表3に示す。

年代別にみると、30代、40代で受診率が低い傾向にあり、特に40代においては、すべてのがん検診の受診率が20%台に留まっていた。

肺がんの受診率は、胃がん・大腸がんの受診率より低いが、肺がん検診に関するインタビュー調査等では胸部X線撮影が肺がん検診であることが受診者に正しく認識されていないケースが多くあり、このことが肺がん受診率の低さに影響していると考えられるが、明確な数値として示すことは難しい。

表3. 男性のがん検診受診率

	胃がん	大腸がん	肺がん
30代以上	31.6%	32.6%	25.9%
40代以上	34.7%	35.3%	29.3%
30代	14.1%	16.7%	6.4%
40代	28.8%	26.9%	27.9%
50代	37.7%	33.8%	33.8%
60代	35.4%	41.3%	26.5%

女性のがん検診受診率を表4に示す。

年代別にみると、乳がん・子宮がんの受診率は、全ての年代で他のがん検診と比較して高く、特に40代の受診率は、50%を上回っていた。

表 4. 女性のがん検診受診率

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
30代以上	26.6%	30.9%	18.8%	39.7%	42.1%
40代以上	29.5%	34.0%	22.0%	41.4%	38.3%
30代	15.8%	18.5%	6.2%	32.9%	56.8%
40代	28.2%	27.1%	20.6%	55.3%	52.9%
50代	33.5%	35.3%	26.0%	40.5%	43.9%
60代	27.2%	38.4%	20.1%	31.7%	22.8%

*練馬区のがん検診対象：胃がん・大腸がんは30歳以上、肺がん・乳がん（前年度未受診者）は40歳以上、子宮がん（前年度未受診者）は20歳以上

*受診率 = 昨年度受診者数 / 調査票回答者数 × 100

2) 受診機会

年代別のがん検診受診機会を図 1 に示す。

40代・50代では、約半数が職場検診を受診していた。

60代では、区の検診が最も多く（44.3%）、重要な役割を果たしている一方で、職場検診は 26.9%、自費で個人的に受診は 17.8%と少なかった。

受診率 50%達成に向けて、40代・50代では、職域における受診機会を充実させること、60代では、区の検診を積極的に勧奨することが重要であると考えられる。

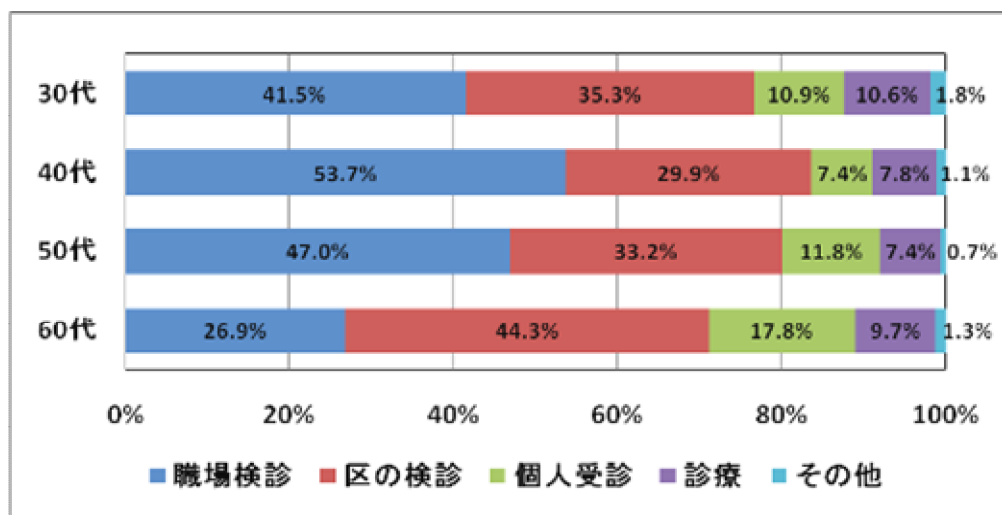


図 1. 年代別受診機会（5がん合計）

3) がん検診受診の予定

「これから先、各がん検診を受診するつもりはありますか？」という質問に対して、5がん検診すべてにおいて、約70%の対象者が、「1年以内に受診するつもりはないが、いつかは受診したい」、または、「1年以内に受診するつもりだが、具体的には決めていない」と回答した(図2)。

この結果から、大半の人は、自分が検診の対象年齢であり、がん検診を受けなければならないという意識はあるものの、受診行動にはつながっていないことが明らかになった。この理由としては、がん罹患する可能性・重大性を強く認識していないために、検診受診に緊急性を感じず、行動につながっていないことが考えられる。

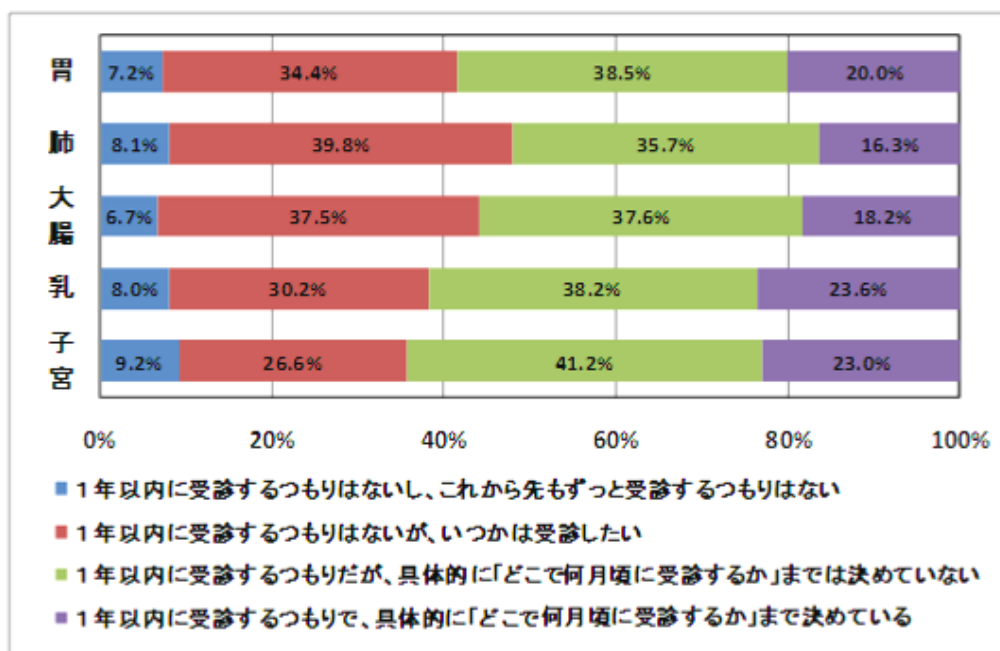


図2. がん検診受診の予定の有無

がん検診受診の予定の有無の回答結果に基づき、5 がん全てのがん検診対象者の、がん検診に対する意識のステージを図示し、セグメント分けした（図3）。なお、セグメントとは、対象者を同一属性で分類した同質集団のことである。

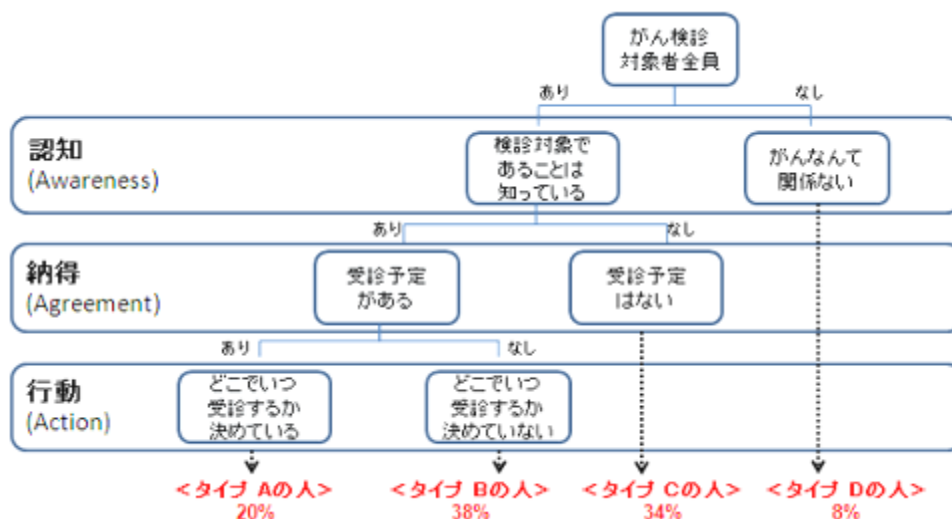


図3. がん検診対象者のセグメント

図3では、回答者をタイプA～Dに分類した。定義は以下の通りである。

- ①タイプA：がん検診受診意向が最も高い
「一年以内に受診するつもりで、具体的に『どこで何月頃受診するか』まで決めている」と回答した者（20%）
- ②タイプB：
「一年以内に受診するつもりだが、具体的に『どこで何月ごろに受診するか』までは決めていない」と回答した者（38%）
- ③タイプC：
「一年以内に受診するつもりはないが、いつかは受診したい」と回答した者（34%）
- ④タイプD：がん検診受診意向が最も低い
「一年以内に受診するつもりはないし、これから先もずっと受診するつもりはない」と回答した者（8%）

タイプBが38%と最も多く、次いでタイプCが34%という結果であった。

同じ検診未受診者であっても、がん検診に対する意識のステージは異なり、それぞれのタイプの対象者に対して最も有効なメッセージを作成することが必要であると考えられる。

「がんになることについてどれくらい心配ですか？」という質問に対する、性別、年代別の回答状況を、図4に示す。

60代では、他の年代と比較して、「かなり心配している」「少し心配している」の割合が低かった。これは、60代で「がん検診を受診していない理由」に、「健康に自信があるから」と回答した人が27%だったことから、定期的に医療機関に行っている（もしくは心配なときにはすぐに行くことができる）ために、がんを心配していない傾向があるためではないかと推測される。

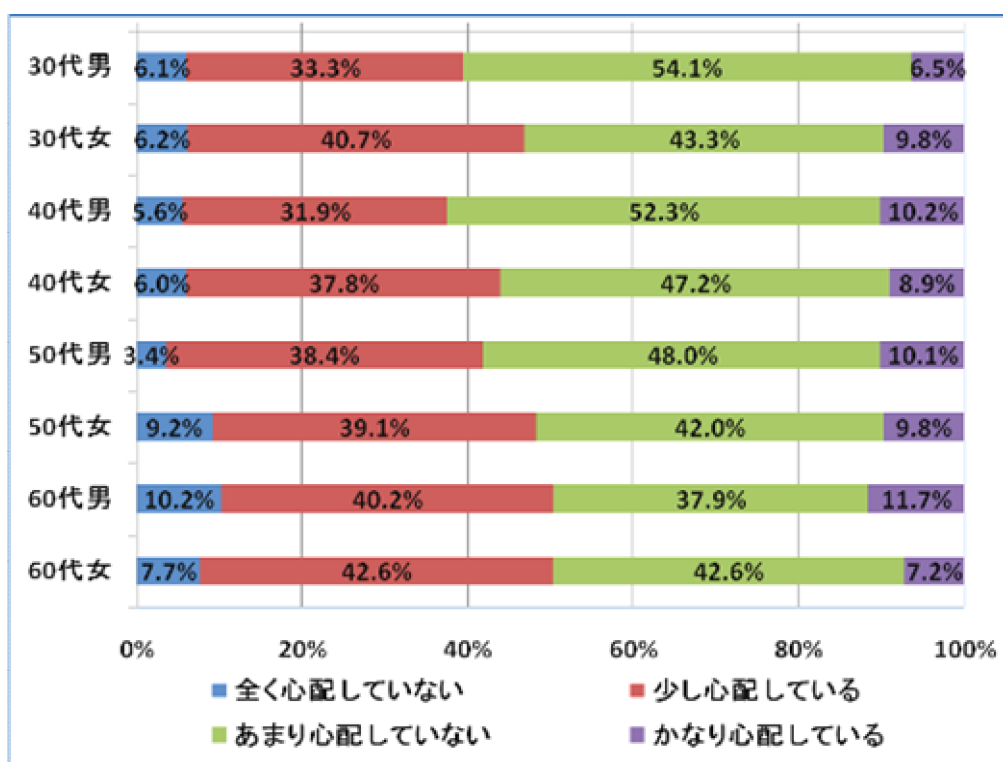


図4. がんの心配度（年代・性別）

4) がん検診を「受けられなかった」「受けなかった」理由

がん検診を「受けられなかった」「受けなかった」理由の年代別の内訳を図5に示す。

全年代で「忙しいから」が最も多かったが、特に30代、40代で多かった。

年代が上がるにつれ、「健康に自信があるから」の割合が高くなり、特に60代で顕著であった。60代では、「心配な時にはいつでも医療機関を受診できるから」という理由で検診を定期的に受診していない人が「健康に自信があるから」と回答した人の74%を占めていた。「検査内容が不安だから」はどの年代も同程度であり、「申し込み方法が分からない」は30代で多かった。

以上から、受診率向上のためには、受診勧奨時に、①具体的な検査内容・所要時間、②簡略な申し込み方法、③がんに罹患する可能性や早期発見の重要性を、分かりやすく周知することが重要である。

また、「忙しいから」を理由にする人が全年代で多かったことから、土日にも検診を実施するなどの検討も必要である。

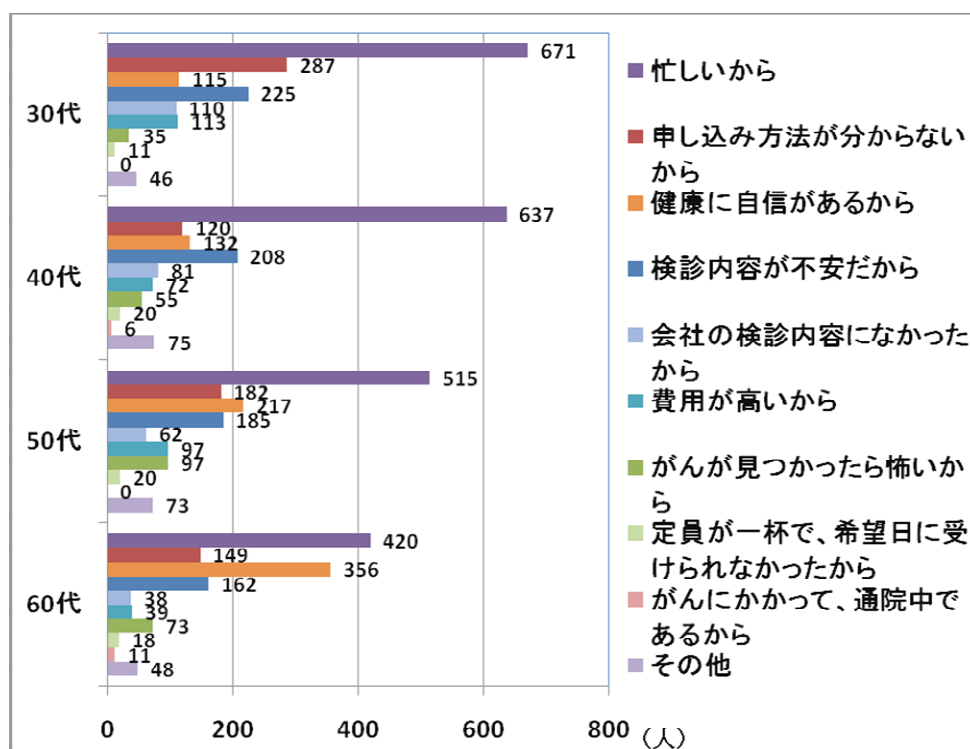


図5. がん検診を受診しなかった理由（複数回答、年代別）

5) 職場でのがん検診受診機会、区が実施するがん検診の認知

「ご自身、もしくは配偶者の方が勤務されている会社には、がん検診を受けることができる制度がありますか？」という質問に対しては、いずれのがん検診においても、「制度がある」と「制度がない」と回答した人の割合が、ほぼ半数ずつであった（図 6）。

「制度がない」は、肺がん検診が最も多かったが、これは、胸部 X 線撮影が、肺がん検診として認識されていない可能性もある。

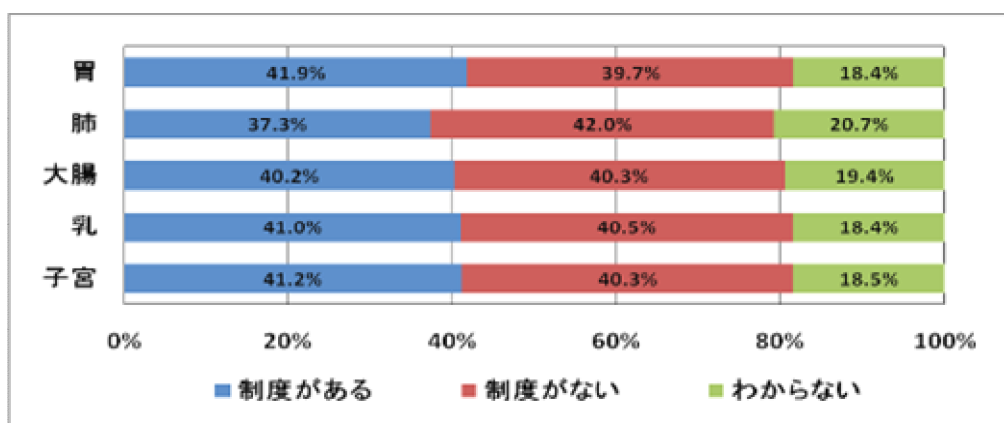


図 6. 職場のがん検診の有無

職場でのがん検診受診機会がない人に対しては、住民検診について周知する必要があるが、練馬区が実施するがん検診の認知度はいずれも 7 割以上と非常に高かった（図 7）。

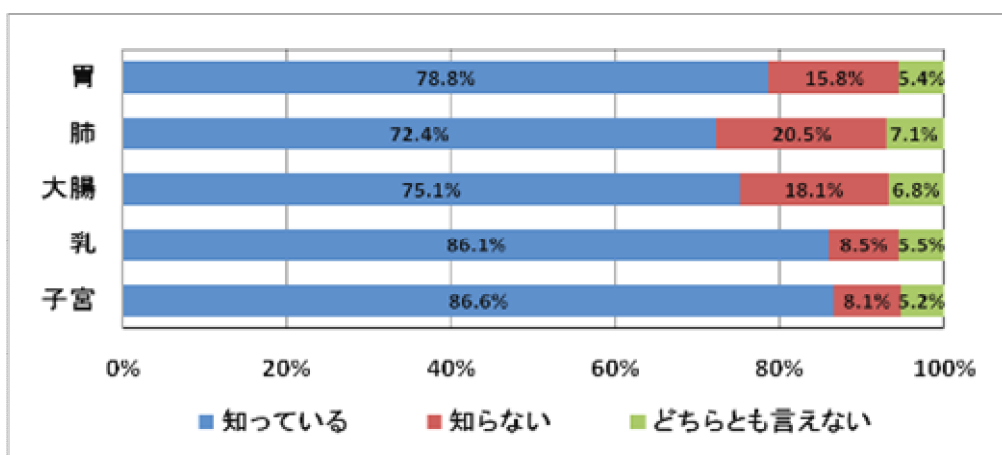


図 7. 練馬区のがん検診の認知度

区が全対象者に送付している受診勧奨について、「練馬区からがん検診の案内を受け取ったことがある」が74.9%、「内容を読んだ」は60.4%であった（表5、表6）。

約40%の対象者は、案内を受け取った記憶がない、もしくは、受け取ったが内容を読んでいないことが分かった。

表5. あなたは練馬区からがん検診のご案内を受け取ったことがありますか？

ある	ない	覚えていない	無回答
74.9%	8.8%	15.5%	0.8%

表6. その案内をお読みになりましたか？

読んだ	殆ど読まなかった	覚えていない	無回答
60.4%	11.0%	2.2%	26.4%*

*受け取ったことがないと回答した人を含む

希望する申し込み方法については、「申し込み専用はがき」が最も多く、次いで「インターネット」、「電話」、「保健所・医療機関へ直接申し込み」という結果であった（図8）。

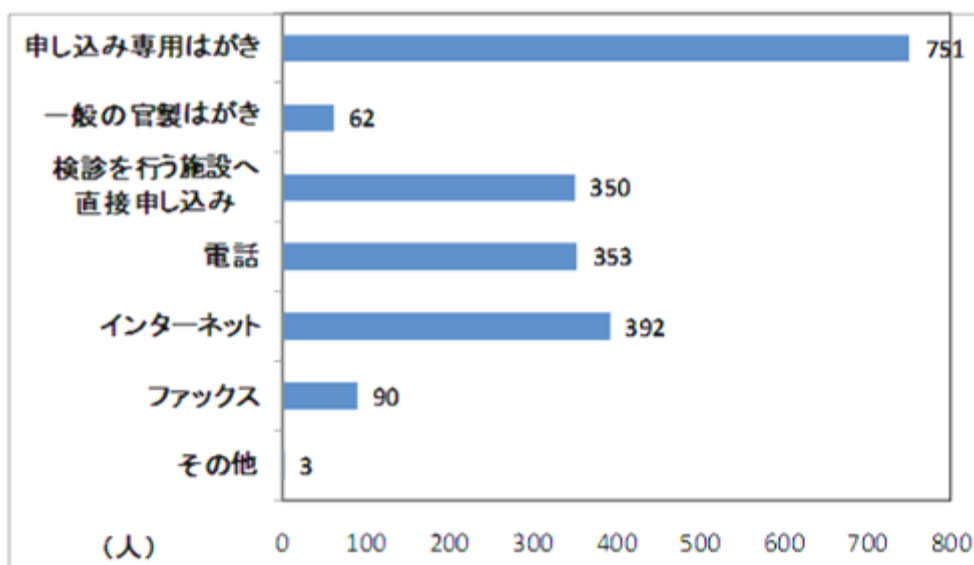


図8. 申し込み方法としてあなたが希望する方法はどれですか？（複数回答）

しかし、実際に区が実施しているがん検診の申し込み方法を知っている人は、「専用はがき」が57.5%、「インターネット」はわずか9.1%だった（表7）。

個別送付されている「申し込み専用はがき」の認知度は低く、改善が求められる。

表7. 以下に挙げた実際の練馬区のがん検診の申し込み方法をご存知ですか？

	知っている	知らない	どちらとも 言えない	無回答
がん検診の個別案内で送られてくる 申し込み専用はがき	57.5%	32.3%	6.9%	3.2%
インターネットによる申し込み	9.1%	58.9%	4.9%	27.2%

4. 考察

今回の調査結果によれば、練馬区のがん検診受診率で、最も低いのは、30代女性の肺がん検診（18.8%）、最も高いのは、30代女性の子宮がん検診（56.8%）であった。全がん検診の平均受診率は33.1%で、国の定める目標受診率50%達成には、男女共に16.9ポイントの開きがあった。

区が実施するがん検診の認知度は80%と高いが、実際の受診率向上には結びついていなかった。理由としては、がん罹患する可能性・重大性に対する意識が低い人が70%を占めており、「自分のがん検診の対象年齢である」と認知はしていても、受診行動にはつながっていないことが考えられる。

今後、受診率を効果的に向上させるためには、対象者を特性別に分類し、各セグメントの行動変容のステージに合わせたメッセージの開発を行い、それぞれのタイプ別に最も効果的なメッセージによる個別受診勧奨を行う必要がある（表8参照）。

表8. 受診率向上に対してエビデンス（科学的根拠・実証）が認められている方法論

	大腸がん	乳がん	子宮がん
受診勧奨システム	○	○	○
スモール・メディア	○	○	○
1対1教育	—	○	○
マス・メディア(単独)	—	—	—
インセンティブ(単独)	—	—	—
集団教育	—	—	—

出典：米国疾病予防管理センターCDC (2008) The Community Guide

例えば、同じ検診未受診者であっても、「がんなんてまったく関係ない」と考えている対象者と、「がん検診の対象であることは知っているし、いつかは受診したいと思っているが、具体的にどこでいつ受診するかは決めていない」と考えている対象者では、効果的なメッセージは異なる。

そこで、調査（インタビュー調査やアンケート）により、対象者のがんやがん検診に関する意識等を分析し、セグメントの特性ごとのメッセージの優先順位を洗い出すことで、効果的ながん検診受診勧奨メッセージを作成、個別送付することにより、受診率向上に飛躍的な効果が見込めると考えられる。

ま と め

都内 4 つの自治体において実施したがん検診受診率向上に関する取組についてその効果を分析、検証し、以下の知見を得た。

1) がん検診を積極的に勧奨すべき住民層把握の重要性

これまでは、各自治体では、職域検診等を含む住民のがん検診受診状況が正確に把握されていなかったため、50%という受診率目標に対して、自治体の実施するがん検診について、どれだけ受診率を向上すればよいのかが明確に示されることがなかった。

具体的な数値目標を設定し、効果的な受診率向上に取組むためには、自治体が積極的に受診勧奨すべき検診対象者を正確に把握することが重要である。

2) 受診勧奨・再受診勧奨により、受診率は飛躍的に向上する

がん検診のお知らせは、これまで、広報紙やパンフレット、健診時の情報提供等の手法により行われることが多かった。

しかし、今回の取組を通して、従来の広報手段で「伝えつつも」の情報は、必ずしも住民にしっかりと伝わっていないことが明らかになった。

個別の受診勧奨・再受診勧奨による受診率向上効果は、従来の手法と比較して、非常に高いことが明らかとなった。

3) 対象者の特性に応じたメッセージによる受診勧奨は効果が高い

住民に伝えるメッセージは、「より多くの人々に届いたほうがよい」あるいは「なるべく反対が出にくいものがよい」と考え、とかく最大公約数をねらいがちである。その結果、メッセージが広く浅いものになり、あまり印象に残らないものになってしまう傾向がある。

がんやがん検診に関する意識調査等に基づき、対象者の特性を把握し、その特性に応じた受診行動に結びつきやすいメッセージによる受診勧奨を行うことは、一般的なメッセージの画一的な送付に比べて受診率向上効果が高いことが分かった。

課題としては、検診実施医療機関のキャパシティー不足や自治体の予算不足等により、これらの効果的な受診率向上策の取組の広がりが制約を受ける可能性がある。

今後がん検診の受診率向上策を進めるためには、がん検診の費用対効果、死亡率減少効果が明確にされることが必要である。

本事業で得られた上記知見を活用し、他区市町村においても同様の取組を実施することで受診率が向上し、50%という受診率目標を達成し、がん検診によるがんの死亡率減少効果を最大化することが可能になると考えられる。

添付資料

資料 1：(立川市) 再受診勧奨で用いたリーフレットA (がん検診受診意図あり)

立川市より

¥9000

助成があります

立川市民の40歳以上の女性には約9000円の助成があります。

乳がん検診(マンモグラフィ)は個人診療の場合、1万円を超える高価な検査ですが、検診日に40歳以上の立川市民の女性で、昨年度立川市の乳がん検診を受けてない方が市の検診を受けると、市から約9000円の助成を受けていることになります。(自己負担1000円)。

検査費用	約 10000 円
助成金	— 約 9000 円
自己負担金	1000 円

※ 現金が支給されるわけではありません

受診予約メモ

2009年度乳がん検診受診の最終申し込み締め切り日は平成22年1月29日(金)必着、検診受診期間は平成22年3月31日までです。今年度の検診の申し込みはお済みですか?ご希望の場所と時間で受けられるようにできるだけ早く申し込みをしましょう。

検診場所の電話番号

医療機関

日時

メモ

立川市 福祉保健部 健康推進課
〒190-0011 東京都立川市高松町3-22-9 健康会館内
電話：042-527-3272 FAX：042-521-0422

今年の乳がん検診

受診計画カード

2009年度の乳がん検診

40歳を越えたら2年に1度、乳がん検診

受けてください

乳がん検診

命に関わる
とても大切な検診です

日本人女性の20人に1人が乳がんに!

近年、日本人女性の20人に1人が乳がんにかかると言われていています。乳がんは40歳の女性が最もかかりやすいがんです。

乳がんは40歳～50歳の女性の
がん死亡率第1位

乳がんは転移すると致命的なことにもなりかねません。年間に1万人近くの日本人女性が乳がんで命を落としています。

早期のうちに治療すれば約90%治ります

がんが検診でみつかるほど大きくなり、そして早期がんから次の病期(ステージ)であるII期に入るまでの期間は約2年弱であるため、早期で発見するためには2年に1度、検診を受けることが大切です。

STEP1 検診までの準備

✉ **検診の申し込み**

はがき封書で申し込みます。受診票が折り返し郵送で送られてきます。

申し込み締切：平成22年1月29日(金)必着

記入事項：「乳がん検診申し込み」、氏名(フリガナ) 生年月日、住所、電話番号

送り先： 〒190-0011
立川市健康推進課
立川市高松町3-22-9 健康会館内

今年度の受診票やクーポン券がすでに手元にある方は申し込みの必要はありません。昨年度立川市の乳がん検診を受診した方は今年度は受診できません。

+ **指定医療機関に予約の電話**

受診票が届いたら、ご希望の市内指定医療機関に電話して検診の予約をします(指定医療機関は同封のリスト参照)。今年度の受診最終締め切りは平成22年3月31日です。

☎ **042-各指定医療機関**

STEP2 検診を受ける

📋 **問診**

自覚症状等についてお聞きします

👁️ **視触診**

医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます

👩 **マンモグラフィ**

マンモグラフィという装置を用いて、乳房をX線撮影します

👉👉 **自己触診法の指導**

自己触診の方法を説明、指導します

STEP3 結果の確認

📄

後日、受診した医療機関に検査の結果を聞きに行きます

資料 1：(立川市) 再受診勧奨で用いたリーフレットB (がんが怖い)

40歳になったらマンモグラフィ
自己触診では見つからないがんも見える
優れた画像検査法

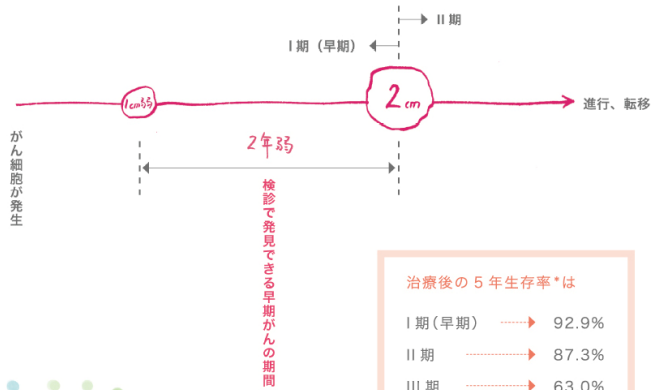
立川市 福祉保健部 健康推進課

早期発見で乳がんは治る！

乳がんは早期に見つけて治療すれば90%治る。正しい知識を持って専門の先生と一緒に、定期的にチェックしていくことが大切

早期のがんが検診で見つけられるのは2年間

乳がんは早期のうちに見つけて治療すれば90%治る。乳がんが検査で見つかるほど大きくなってから(1cm弱)「早期」の次の「II期」に入るまでの期間が約2年。早期に見つけるにはやはり2年に1度、定期的に検診を受ける必要があるのだ。



注：治療後の5年生存率は全国がん(成人病)センター協議会加盟施設の集計データ。全がん施設別の乳がんの5年生存率

いま実に日本人女性の20人にひとりが乳がんにかかると言われています

もう他人事とは思えない！乳がんは40代女性が一番かかりやすいがん

乳がんは40代の女性の
がん死亡率
ナンバーワン

近年の日本では1年間で約一万人の女性が乳がんで亡くなっています。40代と50代はとくに乳がんにかかりやすい年齢。

クラスのお母さんの中に
1~2人ってことね



自己触診では
みつからないケースが
たくさんある

乳がんは、自己触診だけでは見つけることが難しい。早期発見のためには定期的にマンモグラフィと専門の医師による視触診のチェックを受けることが大事。

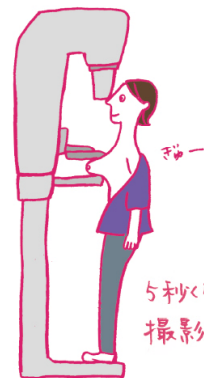


マンモグラフィはこんな検査

マンモグラフィって一体どんな検査なんだろう？不安に思ってる人もいるかもしれない。実際にはどんな検査なのか知れば、乳がん検診に行く時も安心！

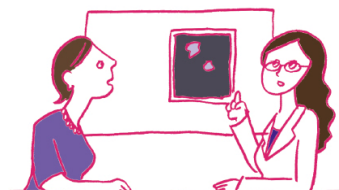
マンモグラフィは
いわゆるおっぱいの
レントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる、おっぱいのレントゲン。プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上からレントゲンを撮る。



5秒くらい...しどいて...
撮影終了！

1cm以下のしこりまで
見つけられる
優れた画像検査法



*担当医師が女性でない場合もあります

がんの知識 乳がん

平成21年度

近年の日本では、2人に1人はがんになり
3人に1人はがんで亡くなっています

乳がんは
40代女性の
第1位のがん死亡率



立川市 福祉保健部 健康推進課

乳がん検診について

立川市では40歳以上になる女性市民のみなさまに
乳がん検診の受診を勧めております。

乳がん検診受診の流れ

1. 検診を申し込む

はがき封書で申し込みます。受診票が折り返し郵送にて自宅に届きます。
申し込み締切 平成22年1月29日(金) 必着
記入事項 「乳がん検診申し込み」/ 氏名(フリガナ)/ 生年月日/ 住所/ 電話番号
送り先 〒190-0011 立川市高松町3-22-9 健康会館 健康推進課
※ 今年度の受診票やクーポン券がすでに手元にある方は申し込み必要はありません。
※ 乳がん検診は2年に1度です。昨年度立川市の乳がん検診を受診した方は、今年度は市の検診を受診できません。
2. 予約の電話

受診票が手元にとどいたら、市内指定医療機関に直接電話して検査の予約をします。
(同封の市内指定医療機関リスト参照)
3. 検査当日

検査の内容
問診/ 自覚症状等についてお聞きします
視触診/ 医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます
マンモグラフィ/ 乳房のレントゲンを撮ります
自己触診法の指導/ 自己触診方法を指導します


4. 結果について

後日、受診した医療機関に検査の結果を聞きに行きましょ

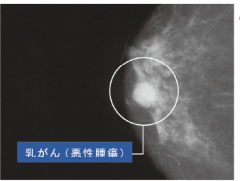
立川市
立川市 福祉保健部 健康推進課
〒190-0011 東京都立川市高松町3-22-9 健康会館内
電話：042-527-3272 FAX：042-521-0422

「40代女性のがん」 乳がんの実態

40代の日本人女性に急速に広がる乳がん

乳がんはここ数十年間で日本人女性に急速に広がったがんです。今日では日本人女性の20人に1人が乳がんにかかると言われる程の広がりを見せています。しかも、乳がんは40代女性が最もかかりやすいがんであるため、「40代女性のがん」なのです。

図1. マンモグラフィで撮影した乳房X線写真



40代の日本人女性における乳がんの致死性

乳がんの怖さはその発病年齢の若さだけではありません。一番の怖さは、他のがん同様その致死性にあります。2000年以降、乳がんは40代女性のがん死亡率No.1となり、年間1万人もの女性が乳がんにより亡くなっています。

図2. 40-44歳女性の部位別がん死亡数割合



資料：国立がん情報センター

「自覚症状が出てから」では手遅れ

乳がんは早期発見により完治率が飛躍的に高まるがんです。しかし、専門の訓練を受けた医療従事者でない限り、自己触診により早期の乳がんを発見するのは非常に困難であり、マンモグラフィを受診しなければ、他の部位に転移する前の早期のうちに見つかる機会を逃してしまいます。

立川市から約9000円の助成

乳がん検診(マンモグラフィ)は個人診療の場合、1万円を超える高価な検査ですが、検診日に40歳以上の立川市民の女性で、昨年度立川市の乳がん検診を受けていない方が市の検診を受けると、市から約9000円の助成を受けています*。(自己負担1000円)。

1期(早期)	II期	III期	IV期
92.0%	87.3%	63.0%	31.8%

注：治療後の5年生存率は中国がん(日本人)センター協議会加盟施設の実績データ。全がん種別別の乳がんの5年生存率

*税金が支給されるわけではありません

近年、日本人女性の20人に1人が乳がんになる
と言われています。ほとんどのがんは
「自覚症状が出てから」検査に行っても、
発見が遅れ、手遅れになることもあるため、
毎年1万人以上の日本人女性が
乳がんで命を落としています。

資料 2：(立川市) 従来の子宮・乳がん検診周知パンフレット

2年に1度は
子宮がん・乳がん検診を!

平成21年度子宮がん検診・乳がん検診のご案内

立川市では、女性市民の方を対象に子宮がん検診及び乳がん検診を行っています。
がんの治療は早期発見が一番といわれており、初期に発見できれば手術や治療も少なくて済みますし、ほぼ治すことができます。ぜひこの機会にお申し込みください。

	子宮がん検診	乳がん検診
対 象	受診日現在 20 歳以上の女性市民で、 昨年度の立川市子宮がん検診未受診の方。	受診日現在 40 歳以上の女性市民で、 昨年度の立川市乳がん検診未受診の方。
実施期間	前期 6月 1日(月) から 7月31日(金) まで 後期 10月 1日(木) から 11月30日(月) まで いずれかの期間に1回、受診できます。	平成21年6月 1日(月) から 平成22年1月30日(土) まで *予約が必要な医療機関がほとんどです。 余裕をもって受診してください。
検診内容	問診・頸首細胞診 (必要に応じて体部細胞診:追加 1,000円)	問診・乳房触診・マンモグラフィ (必要に応じて乳がん予防についての指導)

*いずれの検診も、費用の一部としてそれぞれ 1,000 円をご負担いただきます(子宮がん検診で体部細胞診も実施した場合は別途 1,000 円必要です)。免除制度もあります。お支払は、検診当日医療機関で。
*必要書類をご希望の方は、健康会館へお申し込みください。

お申込みは… 官製ハガキまたは封書で、健康推進課へ!

<記入例>

切手 190-0011

立川市高松町
3-22-9
立川市健康推進課
成人健診係
行

・希望検診名
①子宮がん(20歳以上)
②乳がん(40歳以上)
③両方(40歳以上)

・住所
・氏名(ふりがな)
・生年月日(必ず記入)
・電話番号

希望の検診番号を
お書きください

*受診期間の終了まじわは、ご希望の医療機関で受診できない場合があります。ご了承ください。
お問い合わせは… **立川市健康推進課 成人健診係 ☎527-3272**
(月～金/8時30分～17時)

資料 3：(立川市) 調査票

Page 1

1 乳がん検診(マンモグラフィ)の受診状況についてお聞きします。以下の3つの選択肢のうち、あなたの状況に最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶし、矢印(→)の項目に進んでください。

過去1度も
検診を受けたことがない

○

aへ進む

過去に受けたことはあるが
この2年間受診していない

○

最後に受診したのは
()年()ヶ月前

aへ進む

この2年以内に受診した

○

bへ進む

a. 乳がん検診(マンモグラフィ)の受診機会がありましたか?

機会がなかった

機会があったが、受けようと思わなかった

機会はある程度受けようとは思っていたけれど受けなかった

b. どのような機会に受診されましたか? 当てはまるものを1つ選んでください。

市区町村から案内されて受けた

職場から案内されて受けた

個人的に医療機関を探して受けた

通院中の病院ですらめられて受けた

2 今後の乳がん検診の受診に対するお考えについてお聞きします。これから先、乳がん検診を受診するつもりですか? 以下から最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

1年以内に受けるつもりはないし、これから先も
ずっと受けるつもりはない

○

3へ進む

これから先1年以内には
受けるつもりはないが
いつかは受診したい

○

3へ進む

この1年以内に
受診するつもりである

○

下の質問へ進む

「この1年以内に受診するつもり」にチェックした方にお聞きします。

何月頃に乳がん検診を受けるか決めていますか? はい → ()月頃

どこで乳がん検診を受けるか決めていますか? はい → (場所))

いいえ

Page 2

3 乳がん検診に対するあなたの考え方や、周りの状況についてお尋ねします。それぞれの項目について、最も当てはまるものを1～5の選択肢から1つ選んで○を塗りつぶしてください。

	1 全く 思わない	2 あまり 思わない	3 どちら とも言 えない	4 少し 思う	5 かなり 思う
親しい友人・知人から、乳がん検診を受診することを勧められている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
検診(医療)機関の開いている時間が不便なため、乳がん検診を受診するのは難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
乳がん検診は服を脱ぐなどデリケートな検診内容に伴うので恥ずかしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
心配な時に医療機関を受診できるので、乳がん検診を受ける必要性を感じない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

4 乳がんになることはどのくらい心配ですか? 最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

全く心配していない

あまり心配していない

いくらか心配している

かなり心配している

5 ご自身の普段の健康管理のために行う行動に対する「自信」に関してお尋ねします。最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

自分で決めた健康を維持するための目標(ダイエットや習慣的な運動など)を達成することができる

全く思わない

あまり思わない

どちらとも言えない

少し思う

かなり思う

6 ご加入されている医療保険の種類をお尋ねします。当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

組合健保(会社の健康保険)

国民健康保険

協会けんぽ(旧・政府管掌)

共済組合

船員保険

退職者医療制度

長寿(後期高齢者)医療制度

いずれの保険にも未加入

分からない

7 6でお選びになった医療保険についてお伺いします。ご本人が加入していますか? それとも配偶者の被扶養者として加入していますか?

本人として加入

被扶養者として加入

分からない

8 ご自身、もしくは配偶者の方がお勤めになっていらっしゃる会社には、社員または社員の家族にマンモグラフィ(人間ドックに含まれるマンモグラフィを含む)を受けさせる制度がありますか?

制度がある

制度がない

分からない

勤めていない

男性で2番目にかかる人口が多いがんは大腸がん

女性の部位別がん死亡数第一位

命に関わる大事な検診、
忘れないでください

大腸がんで命を落とす人が急増しています

大腸がん
増え続ける患者数

足立区
ADACHI CITY

足立区より大腸がん検診のご案内

足立区大腸がん検診の受け方

大腸がん検診は自宅で簡単にできる便採取によって行う検査で、しかも医学的根拠に基づいた正確な検査です。痛みや食事制限も全くありません。便潜血検査の検査費用は無料です。



1. 受診票を申し込む (今年度の受診票がすでにお手元にある方は申し込みの必要はありません)

方法1: はがきで申し込む

記入事項: 「大腸がん検診申し込み」、氏名(フリガナ)、生年月日、住所、電話番号
宛先: 〒120-8510 足立区中央本町一丁目17番1号 足立保健所健康推進課成人保健係

方法2: お近くの保健総合センターまたは成人保健係に直接行って申し込む

中央本町保健総合センター	TEL 3880-5351	千住保健総合センター	TEL 3888-4277
竹の塚保健総合センター	TEL 3855-5082	東和保健総合センター	TEL 3606-4171
江北保健総合センター	TEL 3896-4004		

2. 受診票が届いたら医療機関にまずは電話。そして検査キットを取りに行きます

持参するもの: 受診票 (2枚目の問診票を事前に記入)
今年度の大腸がん検診の容器の受け取り期限(受診票の有効期限): 平成22年2月27日
指定医療機関は受診票と一緒にお渡しする「区内指定医療機関一覧」よりお選びください。必ず事前に医療機関に電話し、予約の要・不要、休診日、診察時間などを確認してから、検査キットを取りに行ってください。

3. 自宅で検査キットに2日間、便を採取します

正確な診断のために、採取した便は冷暗所(冷蔵庫等)に保存してください。

4. 採取した便を医療機関に持って行きます

採取した便は採取後なるべく早く医療機関に届けてください。
今年度の大腸がん検診の便の提出期限: 平成22年3月31日

5. 検査結果は4週間ほど後に医療機関で、または郵送で受け取ります

異常なしと出た場合 → 早期発見のためには毎年便潜血検査を受けましょう。
足立区大腸がん検診は毎年度1回受診できます。

要精密検査という結果が出た場合 → 検査結果通知を持参し、精密検査を医療機関で必ず受けてください。
(精密検査は保険診療となるため、検査費用は有料です)



〒120-8510 足立区中央本町一丁目17番1号
足立保健所 健康推進課成人保健係
電話: 03-3880-5121 FAX: 03-3880-5602

大腸がんは、早期のうち は自覚症状がほとんどありません

便は健康のパロメーター。血便が出てないから大丈夫…?

早期の大腸がんの便に混ざる血は
多くの場合、肉眼では見えません

早期の大腸がんは自覚症状がほとんどありません。そのため、知らないうちに進行・転移してしまいます。便に血が混ざることがありますが、早期のうちは微量のため、多くの場合、肉眼では見えません。

私は健康に気を使っているから大丈夫。がんなんて他人事…?

足立区でも近年、年間に200名以上の方が
大腸がんで命を落としています

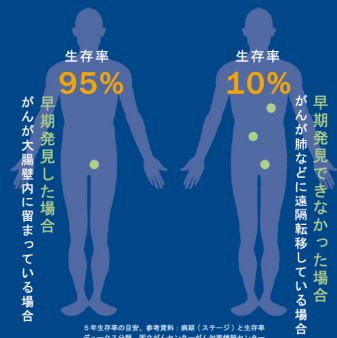
がんは足立区における死因第一位¹⁾であり、特に大腸がんは女性のがん部位別死亡数、第一位²⁾です。男性では肺がんに次いで2番目にかかりやすいがんです³⁾。よって大腸がん検診を毎年受けることは非常に大切ですが、足立区の受診率は約7%⁴⁾にとどまっています。(全国約19%⁵⁾、東京都約17%⁶⁾)
足立区では毎年、年間に200名以上の方が大腸がんで命を落としています⁷⁾。「私は大丈夫」その思い込みが早期発見の機会を逃がしてしまいます。足立区では一人でも多くの方に大腸がん検診を受けていただくために、普及活動を行っています。

データソース
1) 平成19年度 人口動態統計
2) 7.7. 東京都 (足立区) がん登録報告書 平成21年度
3) 国立がんセンター がん対策情報センター
4, 5, 6) 平成19年度 地域保健・成人保健事業報告書データ

進行ステージと5年生存率

早期発見と生存率

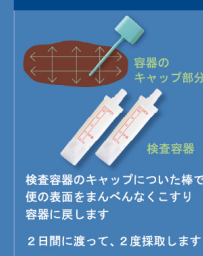
大腸がんは早期発見・治療すれば、高い確率で完治しますが、遠隔転移した瞬間に生存率は急降下します。よって早期に発見することが重要ですが、早期のうちは自覚症状がほとんどありません。だからこそ、検診を受けなければならないのです。



大腸がんは自宅で簡単にできる便採取で 早期発見できます

検便(便潜血検査)は肉眼では見えない血液中のヘモグロビンを免疫学的反応で検出する検査です。便採取は自宅で気軽にでき、痛みや食事制限はまったくありません。この第一次検査(検便)で精密検査が必要と診断された場合のみ、内視鏡検査をします。

自宅で便の採取



検査機関にて血液を検出



資料5：(足立区) 調査票

大腸がん検診に関する以下の説明を読んで、以下の質問へお進みください。

大腸がん検診の一次検診は、2日分の便を採取する便検査です。

Page 1

1 あなたは、以前に大腸がん検診(便検査)を受けたことがありますか?以下の3つの選択肢のうち、あなたの状況に最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

過去1度も大腸がん検診(便検査)を受けたことがない	過去に大腸がん検診(便検査)を受けたことはあるが、この1年間は受診していない	この1年以内に大腸がん検診を受診した
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

「この1年以内に受診した」を選択した方におたずねします。どのような機会に受診されましたか?当てはまるものを1つ選び、○を塗りつぶしてください。

- 市区町村から案内されて受けた
- 職場から案内されて受けた
- 個人的に医療機関を探して受けた
- 通院中の病棟ですらめられて受けた

2 大腸がん検診(便検査)の今後の受診に対するお考えについてお聞きします。これから先、大腸がん検診(便検査)をどの程度受診するおつもりですか?以下から最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

1年以内に受けるつもりはないし、これから先もずっと受けるつもりはない	これから先1年以内には受けるつもりはないがいつかは受診したい	この1年以内に受診するつもりである
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

「この1年以内に受診するつもり」にチェックした方にお尋ねします。

何月ごろに大腸がん検診(便検査)を受けるか はい → () 月頃

いいえ

どこで検診を受けるか決めてありますか はい → (医療機関名) いいえ

裏面に続きます

Page 2

3 大腸がん検診(便検査)の受診に関して、あなたのお考えに最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

	1 とても そう思う	2 やや そう思う	3 どちら でもない	4 あまり そう思わない	5 全く そう思わない
大腸がん検診(便検査)の準備は大変だ(2日分の便を採取します)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)は、恥ずかしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)は不快だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)は時間がかかりすぎる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)の結果が陽性(更精密検査)と言われたと、大腸がんである可能性が高い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)より、ほかの用事が優先する可能性がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)は面倒だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自覚症状がなくても、大腸がん検診(便検査)は必要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
何か悪いものが見つかるかもしれないので怖い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)で、何か悪いものが見つかる意味がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)を受けるお金の余裕がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周りの家族や友人は、私に大腸がん検診(便検査)を受けるようにすすめている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん検診(便検査)を受けるために自分の時間を調整できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
必要な時に医療機関を受診できるので、大腸がん検診(便検査)を受ける必要性を感じない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Page 3

4 大腸がんにかかる可能性に関して、あなたのお考えに最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

	1 とても そう思う	2 やや そう思う	3 どちら でもない	4 あまり そう思わない	5 全く そう思わない
いつか自分は大腸がんになるのではないかと 思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今後2、3年のうちに、自分が大腸がんになる 可能性はかなり高いと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同じ年齢の人と比べて、自分は大腸がんになる可能 性は高いと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5 もし仮に、大腸がん検診(便検査)を受けて「精密検査が必要です」と通知された場合、大腸がんの深刻さについてどのようにお考えになるとお考えですか。あなたのお考えに最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

もし大腸がんになったら・・・	1 とても そう思う	2 やや そう思う	3 どちら でもない	4 あまり そう思わない	5 全く そう思わない
大腸がんのことを考えると怖くなる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がんのことを考えると心配になる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がんにかかわる期間は長く続くと思う (手術後の排便障害など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族との関係に影響が生じると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の人生は変わってしまうと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5年以上は生きられないと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6 大腸がん検診(便検査)の効果に関して、以下のそれぞれの項目について、あなたのお考えに以下から最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

大腸がん検診(便検査)を受ければ・・・	1 とても そう思う	2 やや そう思う	3 どちら でもない	4 あまり そう思わない	5 全く そう思わない
安心できると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がんの事をそれほど心配しなくて済むと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がんを早期に見発見できると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がんが死亡する危険性が減ると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
万一、大腸がんになったとしても 大きな手術の必要性は少なくなると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

裏面に続きます

Page 4

7 以下に、大腸がんになる危険性を高める要因を挙げています。あなたのお考えに最も当てはまるものを1つ選んで○を塗りつぶしてください。

	1 知っていた	2 どちらとも いえない	3 知らなかった
加工肉(ベーコンやハム、ソーセージ)をよく食べると大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お酒をよく飲むと大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
年を取ると、大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
血縁者に大腸がん患者がいると大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肥満の人は、大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸ポリープがある人は大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
運動不足の人は大腸がんになりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

8 大腸がん検診のお知らせが届いたりした場合などに、「大腸がん検診(便検査)は受けたほうがよい」とあなたに受診をすすめてくれそうな人はいませんか?あてはまるもの全て選んで○を塗りつぶしてください。

家族	友人親戚	かかりつけ医	その他	いない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

最後にあなたご自身のことについておたずねします。

9 あなたの性別をおうかがいします。

- 男性
- 女性

10 現在、配偶者の方はいらっしゃいますか?

- いる
- いない

11 現在、職業をお持ちですか?

- はい
- いいえ

12 あなたの直系のご家族(親や子ども、兄弟姉妹など)で、大腸がんが診断された方はいらっしゃいますか?どちらか1つの○を塗りつぶしてください。

- はい
- いいえ
- 答えたくない

資料 7：(東村山市) 子宮がん検診の再受診勧奨で用いたリーフレットA



私達にも関係がある
ガンがある

20才〜30才で子宮頸がんにかかる女性が増えている
恋愛、仕事、結婚、そして赤ちゃんを産むこと
私達の未来を守るために
今、やらなければいけないことがある

子宮頸がん検診 Q & A

たった5分の検診で私たちの未来を守る！



どんな検診？痛みは？
大きめの綿棒で子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取。痛みはほとんどない。所要時間は5分程度。採取した細胞は専門の先生が顕微鏡で観察し、異形の細胞がないかを確認。精密検査が必要と言われたら、必ず精密検査を受けましょう。

どうして検診に行くの？
子宮頸がんは放っておくと、子宮癌へと死に至るとも怖い病気。でも異常形成細胞（がんになる前の段階の細胞）の時点で治療すれば完治が可能。しかしこの時点で自覚症状はないため検診に行くことが必須。検診に行くと異常が見つければ早く治療して完治するし、見つからなければ安心できるから検査を受けて損はない！

何歳から検診に行けばいい？
日本では20歳以上の女性に2年に1度の検診を勧めている。

婦人科に行ったことがないんだけど…
「婦人科は周りが気になる」というひともいるかもしれない。婦人科は生理不順など、女性特有の体の不調を扱い、女性の健康を守るためにある科。もちろん子宮頸がん検診も婦人科が取り扱う大切な項目のひとつ。経歴のあるなしに関わらず30歳になるまでに75%の女性が婦人科に行った経験がある[※]。女性の大半が婦人科もあつから、問い合わせてみよう。そして気軽に婦人科に行ってみよう。

検診はどこで受けられるの？値段は？
子宮頸がん検診を受けるには、実費で受ける方法と自治体の検診を利用する方法がある。実費であればこの婦人科で受けてもいいけれど、自治体の検診を利用して地域内の指定された医療機関で受けると安く受けられる。東村山市の場合、20歳以上の女性は自己負担1000円[※]。

※ データソース：「身の目に聞く、女性の健康実践調査」ROKID
※ 無料クーポンをお持ちの方は無料で検診を受けることができます。

あなたが一歩でも
セックスをした経験があれば
子宮頸がんにかかる可能性はある



子宮頸がんはセックスでうつるウイルスが原因。誰にでもかかる可能性がある

「セックスでうつる命に関わる病気」と言えばHIVを真っ先にイメージするかもしれない。実は子宮頸がんもセックスでうつるヒトパピローマウイルス(HPV)が原因で起こる。しかもこのウイルスは非常にありふれたもので、約70〜80%の女性が一生に一度は感染する。そのほとんどは自然に消滅するけれど、消滅しなかった場合は子宮頸がんを引き起こす可能性がある。

子宮頸がん患者の25%は20歳代〜30歳代

がんなんて年配のひとがかかる病気だと思ってもいいけれど、ウイルス感染に歳は関係ない。HPVに10代の上きに感染していれば、がんとして発病するのは20代。実際に子宮頸がんの場合、患者の4人に1人は20歳から30歳の女性。



子宮には二種類ある。
子宮頸がんは子宮の入り口にできるがん。
子宮体がんは子宮の中にあるがん。

将来、赤ちゃんが産めなくなる
考えたくないけどそんな現実もある



いつかは経験するかもしれない出産。もしそんな未来が選択肢から消えてしまったら…
子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要になる場合もある。もちろん、将来妊娠、出産することができなくなる可能性がある。

子宮頸がんにかかって亡くなる人もいます。
たった5分の検診で私たちの未来を守る

子宮頸がんはかかった瞬間に絶対絶命の病気ではない。早期に治療すれば子宮を摘出せずに完治できる。でも自覚症状がないから知らないうちに進行してしまう。自覚症状がない病気を早期に発見するには検診を受けるしかない。しかし多くの女性がなかなか検診に行かないから、見つかったときにはすでに手遅れで命を落とすしてしまうこともある。検診はとて簡単なもの。5分の検診で私たちの未来を守る。

① 正常細胞

↓

② HPVに感染

↓

③ がん前段階

↓

④ 子宮頸がん

子宮を摘出せずに完治できる時期(約数年〜10年)
自覚症状がない時期

この状態まで来ると多くの場合子宮摘出が必要になる

資料 7：(東村山市) 子宮がん検診の再受診勧奨で用いたリーフレット B

婦人科で扱っている内容と症状

婦人科検診（子宮がん、子宮筋腫、性病など）

子宮や卵巣、甲状腺の病気の治療

月経異常・基礎体温の異常
（痛み、嘔吐、下痢、出血量、生理期間や周期などの異常）

不正出血（排卵期や生理期間以外の出血）

おりものの異常（量、色、臭いなど）

下腹部の異常（激しい痛み、しこり、圧迫感）

性器の異常（外陰部や膣などのかゆみ、痛み、できものなど）

乳房の異常（しこり、痛み、腫れ、形の異常）

妊娠の可能性、悩み、不妊

セックスによる異常（痛み、出血）



定期的に
婦人科に
行きましょう

子宮頸がん検診は
20歳から2年に1度

東村山市の子宮頸がん検診を
利用すれば自己負担は1000円

東村山市では20歳から2年に1度、子宮頸がん検診を
1000円*で受診できます

子宮頸がん検診を受けると決めたら、東村山市の検診を利用しまし
ょう。2年に1度、お住まいの地域の指定医療機関で自己負担1000円
で子宮頸がん検診を受診することができます。東村山市の検診の利用
方法についての詳しい情報は同封のはがきをご覧ください。（子宮頸が
ん検診以外の検査を同時に受診するには別途料金がかかる場合があり
ます）。

※無料クーポンをお持ちの方は、無料で検診を受けることができます

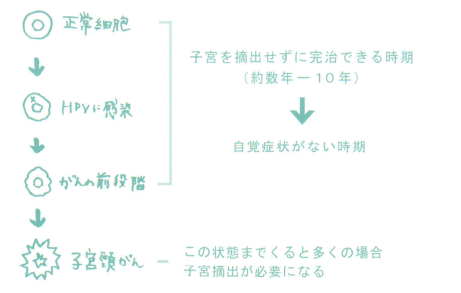
子宮頸がん検診は20歳から 2年に1度

まずは子宮頸がん検診を受けに婦人科に行きましょう

子宮頸がんはセックスでうつるヒトパピローマウイルス（HPV）が原因
です。このウイルスは非常にありふれたもので、約70-80%の女性
が一生に一度は感染します。そのほとんどは自然に消滅しますが、消
滅しなかった場合は子宮頸がんを引き起こす可能性があります。HPV
に10代のときに感染していれば、がんとして発病するのは20代。実
際に子宮頸がんの患者の4人に1人は20代-30代の女性です。発見
が遅れると子宮摘出手術が必要になり、将来妊娠・出産ができなくな
る場合もあります。

子宮頸がんは自覚症状がほとんどなく、知らないうちに
進行します。だからこそ定期検診を受ける必要があります

子宮頸がんは、がんになる前段階での発見が可能で、早期に治療すれ
ば完治できる病気です。しかし日本では検診を受ける女性が少ないた
めに発見が遅れる傾向があります。自覚症状がない病気を早期に発見
するには定期的に検診を受けるしかありません。日本では20歳から2
年に1度、定期的に子宮頸がん検診受診を勧めています。20歳以上の
女性は生理不順などの症状の有無にかかわらず、婦人科に検診を受け
に行きましょう。



この状態までくると多くの場合
子宮摘出が必要になる

※ データソース：国立がんセンターがん対策情報センター

子宮頸がん検診は5分で終わる 簡単な検査です

子宮頸がん検診は短時間で終わる簡単な検査。痛みは
ほとんどありません

問診の質問内容

気になる症状
生理について（周期、痛み、不正出血の皆無など）
性体験の有無
婦人科系またはその他の病気歴
服用中の薬
薬に対するアレルギー

内診

大きめの綿棒で子宮の入り口をこすり、表面の細胞を取り
ます。専門医が顕微鏡で異形成細胞がないかを観察します。

婦人科は女性の健康維持のためにある科。他にも悩みが
あれば、我慢せずに婦人科に相談しましょう

「なんとなく体調が悪い、生理不順。悩んではいるけれど、病院まで行
くのは気が引ける」そんな悩みも問診の時に婦人科医に相談しましよ
う。その症状は婦人科系の病気や性病のサインかもしれません。もし
病気ではなくても、婦人科は女性が健やかに生きる手助けをしてくれ
る科。あなたが不安定な体調や毎月の重い生理に振り回されずに毎日
を元気に過ごす手助けをしてくれます。

体調不良

生理不順

かゆみ

頭痛

気になる子宮がん検診、どんな検診？

どこに行けば受診できますか？

市内の指定医療機関で受診できます。

受診の予約についての詳細は、別紙の「がん検診の受けかた」をご覧ください。

何歳から受けたらいいのでしょうか？

20歳から2年に一度の受診をおすすめします。

特に30～40代で子宮がんにかかる人が増加するので要注意です。

みんなが受診しているものですか？

40代の約30%の人が受診をしています。

日本ではまだ受診率が低いですが、40代女性の約30%が既に受診しています。

検診ではどういことをしますか？

問診、内診のあと、細胞診を受けます。

問診と内診をしたあと、細胞診という検査をします。

子宮の出口部分にある子宮頸部の細胞を綿棒でこすりとり、細胞を検査します。短時間で受診が可能です。

痛みがあったり、かゆみが出たりしませんか？

痛みやかゆみの心配はほとんどありません。

子宮がん検診は簡単に行えるもので、個人差はありますが、激しい痛みやかゆみを感じる心配はほとんどありません。



東村山市 健康課 成人保健係
電話：042-393-5111(代)



なかなか人には聞けない
子宮がん検診のこと

疑問や不安を解消して、ぜひ受診を。



40代女性の88人に1人がかかる
と言われる子宮がん。
早めに発見することが大切です。
知りたいけれど、なかなか人には聞けない...
そんな疑問や不安にお答えします。



東村山市 健康課 成人保健係



なかなか人には聞けない、子宮がんの疑問や不安。答えはこちら。

どうして
子宮がんになるのでしょうか？

ヒトパピローマウイルス
の感染が主な原因です。

子宮がんの約7割は、子宮の出口部分にできる「子宮頸がん」です。
この子宮頸がんの主な原因は、ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によるものです。
40代女性では、10万人に30～35人が子宮がんと診断され、88人に1人が子宮がん
になるという計算になります。

ヒトパピローマウイルスには
どうしたら感染するのですか？

性交渉で誰もが
感染するウイルスです。

ヒトパピローマウイルス (HPV) は、性交渉で感染するウイルスです。
約70～80%の女性が一生に一度は感染する、ごくありふれたウイルスです。
HPV感染の大部分は一過性で、通常は体の免疫機構により排除されるため、子宮頸がん
にはなりません。まれに HPV が排除されず、感染が持続した場合に、子宮頸がんに
なる可能性があると言われています。

子宮がんになると
どうなりますか？

初期は症状がありませんが、
放っておくと取り返しが
つかなくなることも。

子宮頸がんの初期には、全く症状がないのが普通
です。がんが少し進行すると、月経時以外の出血、
性行為の際の出血、茶褐色や黒褐色のおりもの増
加、といった症状があります。進行すると、死に
至ることもあり、子宮がんにかかった人の約3～4
人に一人が亡くなっています。

どうしたら
子宮がんが見つかりますか？

子宮がん検診の受診で
早期発見ができます。

子宮頸がんは、がん検診で早期に発見すれば、完治
させることが可能です。
欧米では85%の女性が受診しており、検診を受ける
効果が実証されています。



まだまだある疑問。子宮がん検診、どういことをするの？こわくないの？ つづきは裏面をご覧ください。・・・▶

東村山市の乳がん検診は
自己負担額
¥2000

東村山市在住の40歳以上の女性は自己負担2000円[※]で乳がん検診を受けていただけます。

乳がん検診(マンモグラフィ)は個人診療の場合、1万円を超える高価な検査ですが、東村山市在住、今年度40歳以上(昭44.12.31以前生まれ)の女性で、昨年度、市の乳がん検診を受けてない方は、自己負担2000円で検診を受けることができます。

東村山市では昨年度約1400人の方が乳がん検診を受診され、約100人が検診の結果に異常が見つかり、精密検査を受けました。その中で5名の方ががんを発見されました。早期に発見して治療するために、市では一人でも多くのかたに検診を受けていただくことが大切だと考え、普及活動を行っています。東村山市の乳がん検診を利用して、この機会にぜひ検診を受けましょう。

※ 無料クーポンをお持ちの方は、無料で検診を受けることができます

受診予約メモ

2009年度乳がん検診受診の申し込み締め切り日は2010年2月15日まで、検診受診期間は2010年2月27日までです。今年度の検診の予約はお済みですか?ご希望の場所と時間で受けられるように期日までに受診票を申し込み、検診の予約をしましょう。

医療機関 _____

医療機関の電話番号 _____

日時 _____

メモ _____



東村山市 健康福祉部 健康課
〒189-8501 東京都東村山市本町1丁目2番地3
いきいきプラザ2階
TEL:042-393-5111(代)

今年の乳がん検診
受診計画カード

2009年度の乳がん検診
40歳を越えたら2年に1度、乳がん検診



受けてください
乳がん検診
命に関わる
とても大切な検診です

日本人女性の20人に1人が乳がんに!

近年、日本人女性の20人に1人が乳がんにかかると言われていています。乳がんは40歳の女性が最もかかりやすいがんです。

乳がんは40歳~50歳の女性の
がん死亡率第1位

乳がんは転移すると致命的なこともなりかねません。年間に1万人近くの日本人女性が乳がんで命を落としています。

早期のうちに治療すれば約90%
治ります

がんが検診でみつかるほど大きくなり、そして早期がんから11期に入るまでの期間は約2年弱であるため、早期で発見するためには2年に1度、検診を受けることが大切です。

STEP1 検診までの準備

 **受診票の申し込み**

[受診票の申し込み方法は3つ]

- 東村山市ホームページの「ネット申請」で申し込む
<http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/~kakukaweb/010100/netshinsei/index.htm>
- 健康課窓口で直接行って申し込む
- はがきで申し込む
記入事項:「乳がん検診申し込み」、氏名(フリガナ)
生年月日、住所、電話番号
宛先: 〒189-8501 東村山市本町1丁目2番地3
東村山市健康課 成人保健係

申し込み期限:2月15日
今年度の受診票がすでに手元にある方は改めて申し込む必要はありません

 **指定医療機関に予約の電話**

受診票が届いたら、ご希望の指定医療機関に電話して検診の予約をします(医療機関は同封のリスト参照)
受診期間:2月27日

☎ 042-各指定医療機関

STEP2 検診を受ける

-  **問診**
自覚症状等についてお聞きします
-  **視触診**
医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます
-  **自己触診法の指導**
医師が自己触診の方法を説明、指導します
-  **マンモグラフィ**
マンモグラフィという装置を用いて、乳房をX線撮影します

STEP3 結果の確認

 医療機関ごとに結果の通知方法が異なりますので、詳しくは医療機関にお問い合わせ下さい

40歳になったらマンモグラフィ
自己触診では見つからないがんも見える
優れた画像検査法

東村山市 健康福祉部 健康課

早期発見で乳がんは治る！

乳がんは早期に見つけて治療すれば90%治る。正しい知識を持って専門の先生と一緒に、定期的にチェックしていくことが大切

早期のがんが検診で見つけられるのは2年間

乳がんは早期のうちに発見して治療すれば90%治る。乳がんが検査で見つかるほど大きくなってから(1cm弱)「早期」の次の「II期」に入るまでの期間が約2年。早期に見つければやはり2年に1度、検診を受けなければならない。

発見・治療は早ければ早いほど良い

下の表を見て分かるように、乳がんは進行すればするほど、5年生存率は下がっていく。手遅れで発見するのを防ぐためには、検診は一度受けたら終わりではなく、定期的にそして継続的に受けて、専門の先生と共に経過を観察していく必要がある。

治療後の5年生存率*は

I期(早期)	92.9%
II期	87.3%
III期	63.0%
IV期	31.8%

注：治療後の5年生存率は全国がん(成人病)センター協議会加盟施設の前記アーク、全がん登録施設乳がんの5年生存率

いま実に日本人女性の20人にひとりが乳がんにかかると言われています

もう他人事とは思えない！乳がんは40代女性が一番かかりやすいがん

乳がんは40代の女性の
がん死亡率
ナンバーワン

近年の日本では1年間で約1万人の女性が乳がんできちんと亡くなっています。40代と50代はとくに乳がんにかかりやすい年齢。

クラスのお母さんの中に1~2人ってことね



マンモグラフィはこんな検査

マンモグラフィって一体どんな検査なんだろう？不安に思ってる人もいるかもしれませんが、実際にはどんな検査なのか知れば、乳がん検診に行く時も安心！

マンモグラフィはいわゆるおっぱいのレントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる、おっぱいのレントゲン。プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上からレントゲンを撮る。

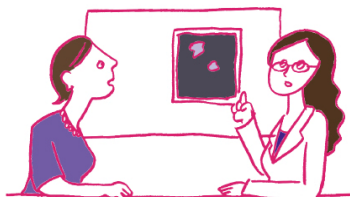


自己触診では見つからないケースがたくさんある

乳がんは、自己触診だけでは見つけることが難しい。早期発見のためには定期的にマンモグラフィと専門の医師による視触診のチェックを受けることが大事。

1cm以下のしこりまで見つけられる優れた画像検査法

マンモグラフィは1cm以下のしこりまで見つけられる、優れた画像検査法。乳がん検診ではマンモグラフィのみならず、問診、視触診、必要に応じて自己検診法の指導もやってくれる。もし乳房の悩みがあったら先生に相談してみてください。



*担当医師が女性でない場合もあります

東村山市の乳がん検診を賢く利用 2年に1度2000円で受診できる！

東村山市の乳がん検診を利用すれば、マンモグラフィ検診が自己負担2000円で受診できる。対象者*は市の検診をぜひ利用して！

東村山市乳がん検診は 自己負担2000円

マンモグラフィは個人診療だと1万円を超える高価な検査。でも検査受診日に40歳以上で、昨年度乳がん検診を受診していない女性は、自己負担2000円でマンモグラフィを受診できる。東村山市では昨年度1400人の女性が市の検診を利用してマンモグラフィを受診した。

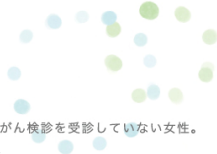


検診場所は 5カ所から選べる

東村山市では5カ所の指定医療機関で乳がん検診を実施している。土曜日に検診が受けられる病院もあるから問い合わせてみよう。

今年度の受診申し込みは 定員になり次第、終了

今年度の乳がん検診受診申し込みの最終締め切りは平成22年2月15日、先着順で定員になり次第終了。受診期間は2月27日まで。昨年度受けてないひとはすぐに受診票を申し込もう。



- ※ 乳がん検診は2年に1度の受診をお勧めしています。
- ※ 対象者：40歳以上（S44.12.31以前生まれ）で昨年度市の乳がん検診を受診していない女性。
- ※ 無料クーポンをお持ちの方は、無料で検診を受けることができます。

乳がん検診の流れ

1. 受診票を申し込む

[受診票の申し込み方法は3つ]

1. 東村山市ホームページの「ネット申請」で申し込む
http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/~kakukaweb/010100/netshinsei/index.htm
2. 健康課窓口へ直接行って申し込む
3. はがきで申し込む
記入事項：「乳がん検診申し込み」/氏名(フリガナ)/生年月日/住所/電話番号
宛先：〒189-8501 東村山市本町1丁目2番地3
東村山市健康課 成人保健係

申し込み期限 2月15日

今年度の受診票がすでに手元にある方は改めて申し込む必要はありません。

2. 場所を決めて予約の電話をする

受診票が手元に届いたら、指定医療機関に予約の電話をします。(同封の指定医療機関リスト参照) 受診期間は2月27日までです。

3. 検査を受ける

問診	自覚症状等についてお聞きします
視触診	医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます
自己触診の指導	医師が自己触診の方法を説明、指導します
マンモグラフィ	乳房のレントゲンを撮ります

4. 検査結果を確認する

医療機関ごとに結果の通知方法が異なりますので、詳しくは医療機関にお問い合わせください。



東村山市 健康福祉部 健康課
〒189-8501 東京都東村山市本町1丁目2番地3 いきいきプラザ2階
TEL:042-393-5111(代)

資料 8：(東村山市) 乳がん検診に関する調査票

Page 1

1 乳がん検診(マンモグラフィ)の受診状況についてお聞きします。以下の3つの選択肢のうち、あなたの状況に最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けて下さい、矢印(→)の項目に進んでください。

過去1度も検診を受けたことがない ○
過去に受けたことはあるがこの2年間受診していない ○
この2年以内に受診した ○

最後に受診したのは()年()ヶ月前

aへ進む aへ進む bへ進む

a. 乳がん検診(マンモグラフィ)の受診機会がありましたか?
○ 機会がなかった
○ 機会があったが、受けようと思わなかった
○ 機会はあると受けようとは思ったけれど受けなかった

b. どのような機会に受診されましたか? 当てはまるものを1つ選んでください。
○ 市区町村から案内や広報等を見て受けた
○ 職場から案内されて受けた
○ 個人的に医療機関を探して受けた
○ 通院中の病院ですすめられて受けた

2 今後の乳がん検診の受診に対するお考えについてお聞きします。これから先、乳がん検診を受診するつもりですか? 以下から最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けて下さい。

1年以内に受けるつもりはないし、これから先もずっと受けるつもりはない ○
これから先1年以内には受けるつもりはないがいつかは受診したい ○
この1年以内に受診するつもりである ○

3へ進む 3へ進む 下の質問へ進む

「この1年以内に受診するつもり」にチェックした方にお尋ねします。
何月頃に乳がん検診を受けるか決めていますか ○ はい → () 月頃
○ いいえ
どこで乳がん検診を受けるか決めていますか ○ はい → (場所) ○ いいえ

Page 2

3 乳がん検診に対するあなたの考え方や、周りの状況についてお尋ねします。それぞれの項目について、最も当てはまるものを1～5の選択肢から1つ選んで○の中に✓を付けてください

	1 全くそう 思わない	2 あまりそう 思わない	3 どちらとも言 えない	4 少し そう思う	5 かなり そう思う
親しい友人・知人から、乳がん検診を受診することを勧められている	○	○	○	○	○
検診(医療)機関の開いている時間が不便なため、乳がん検診を受診するのは難しい	○	○	○	○	○
乳がん検診は服を脱ぐなどデリケートな検診内容を伴うので恥ずかしい	○	○	○	○	○
心配な時に医療機関を受診できるので、乳がん検診を受ける必要性を感じない	○	○	○	○	○

4 乳がんになることはどのくらい心配ですか? 最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けてください
○ 全く心配していない
○ あまり心配していない
○ いくらか心配している
○ かなり心配している

5 ご自身の普段の健康管理のために行う行動に対する「自信」に関してお尋ねします。最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けてください
自分で決めた健康を維持するための目標(ダイエットや習慣的な運動など)を達成することができる
○ 全くそう思わない
○ あまりそう思わない
○ どちらとも言えない
○ 少しそう思う
○ かなりそう思う

6 ご加入されている医療保険の種類をお尋ねします。当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けてください
○ 組合健保(会社の健康保険)
○ 国民健康保険
○ 協会けんぽ(旧・政府管掌)
○ 共済組合
○ 船員保険
○ 退職者医療制度
○ 長寿(後期高齢者)医療制度
○ いずれの保険にも未加入
○ 分からない

7 6でお選びになった医療保険についてお伺いします。ご本人が加入していますか? それとも配偶者の被扶養者として加入していますか?
○ 本人として加入
○ 被扶養者として加入
○ 分からない

8 ご自身、もしくは配偶者の方がお勤めになっていらっしゃる会社には、社員または社員の家族にマンモグラフィ(人間ドックに含まれるマンモグラフィを含む)を受けられる制度がありますか?
○ 制度がある
○ 制度がない
○ 分からない
○ 動いていない 以上でアンケートは終わります。ご協力頂き誠にありがとうございました。

資料 8：(東村山市) 子宮がん検診に関する調査票

Page 1

現在、子宮がん検診とは、医師による子宮の細胞の採取と分析を含むことが原則となっています。以下の質問は、医師による子宮の細胞の採取と分析を含む子宮がん検診の受診状況に関する質問です。

1 あなたは、以前に子宮がん検診を受けたことがありますか? 以下の3つの選択肢のうち、あなたの状況に最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けて下さい。

過去1度も検診を受けたことがない ○
過去に受けたことはあるがこの2年間受診していない ○
この2年以内に受診した ○

最後に受診したのは()年()ヶ月前

aへ進む aへ進む bへ進む

a. 子宮がん検診の受診機会がありましたか?
○ 機会がなかった
○ 機会があったが、受けようと思わなかった
○ 機会はあると受けようとは思ったけれど受けなかった

b. 「この1年以内に受診した」を選択した方におたずねします。どのような機会に受診されましたか? 当てはまるものを1つ選び、○の中に✓を付けてください。
○ 会社の検診(人間ドックなど)で受診
○ 自治体の主催する検診で受診
○ 自分で専門のクリニックなどで受診
○ 普段かかっている病院等の医療機関で受診

2 子宮がん検診の今後の受診に対するお考えについてお聞きします。以下から最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けてください。

1年以内に受けるつもりはないし、これから先もずっと受けるつもりはない ○
これから先1年以内には受けるつもりはないがいつかは受診したい ○
この1年以内に受診するつもりである ○

「この1年以内に受診するつもり」にチェックした方にお尋ねします。
何月頃に子宮がん検診を受けるか決めていますか ○ はい → () 月頃
○ いいえ
どこで子宮がん検診を受けるか決めていますか ○ はい → (場所) ○ いいえ

Page 2

3 婦人科の受診状況(子宮がん検診に限らず、婦人科全般)についてお聞きします。以下の3つの選択肢のうち、最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けてください。

過去1度も検診を受けたことがない ○
過去に受けたことはあるがこの2年間受診していない ○
この2年以内に受診した ○

4 子宮がんは、何歳くらいからかかってくる病気だと思いますか? 以下5つの選択肢のうち、最も当てはまるものを1つ選んで○の中に✓を付けてください。

20歳代から ○
30歳代から ○
40歳代から ○
50歳代から ○
60歳以上 ○

5 子宮がん検診に対するあなたの考え方や、周りの状況についてお尋ねします。それぞれの項目について、最も当てはまるものを1～5の選択肢から1つ選んで○の中に✓を付けてください。

	1 全くそう 思わない	2 あまりそう 思わない	3 どちらとも言 えない	4 少し そう思う	5 かなり そう思う
親しい友人・知人から、子宮がん検診を受診することを勧められている	○	○	○	○	○
検診(医療)機関の開いている時間が不便なため、子宮がん検診を受診するのは難しい	○	○	○	○	○
子宮がん検診は服を脱ぐなどデリケートな検診内容を伴うので恥ずかしい	○	○	○	○	○
心配な時に医療機関を受診できるので、子宮がん検診を受ける必要性を感じない	○	○	○	○	○
子宮がんになった人は、5年以上は生きられない	○	○	○	○	○
将来自分が子宮がんになることが心配だ	○	○	○	○	○

6 子宮がんに関して、あなたは以下の項目を知っていましたか? 最も当てはまるものを1～3の選択肢から1つ選んで○の中に✓を付けてください。

	1 知らない	2 知っている	3 どちらとも言 えない
ウイルスが原因で子宮頸がんになる	○	○	○
原因ウイルスは性交渉で感染する	○	○	○

以上でアンケートは終わります。長い時間ご協力頂き誠にありがとうございました。

練馬区民のがん検診受診状況等調査

問1 あなたの性別および年齢についてお伺いします。

性別 該当する選択肢の○(マル)を1つだけ塗りつぶしてください。

男	女		
○	○		
年齢 平成22年3月31日現在の年齢に該当する選択肢の○(マル)を1つだけ塗りつぶしてください。			
30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
○	○	○	○

問2 あなたの世帯の家族構成についてお伺いします。

あなたも含めた合計同居家族の人数に該当する選択肢の○(マル)を1つだけ塗りつぶしてください。

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

同居家族の構成に該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

- 配偶者
- 子
- 父母
- 祖父母
- 兄弟姉妹
- 他の家族
- 一人暮らし
- その他()

問3 あなたが加入している健康保険の種類についてお伺いします。

該当する選択肢の○(マル)を1つだけ塗りつぶしてください。

国民健康保険	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 世帯主
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 世帯主以外の家族
協会けんぽ(旧政府管掌健康保険)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 本人
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 家族
組合健康保険(健康保険組合・共済・船員)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 本人
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 家族
後期高齢者医療保険	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医療保険に加入していない(利用できる健康保険はない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問4 あなたの「がん検診」の受診状況についてお伺いします。

性別により、お答えいただく「がん検診」の種類が異なります。

★男性の方は、「がん検診」の種類 1・2・3にお答えください。

☆女性の方は、「がん検診」の種類 1・2・3・4・5にお答えください。

【参考】練馬区の各がん検診の対象年齢：「胃がん、大腸がんは30歳以上」、「肺がん、乳がん(前年度未受診の方は40歳以上)」、「子宮がん(前年度未受診の方は20歳以上)」

問4-1 あなたが受診した「がん検診」の種類ごとに受診の有無についてお答えください。

(検診の結果を受けて行う、再検査・精密検査ではなく、最初に受ける検診についてお伺いします。)

種類1 胃がん検診 受診の有無

該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

- 昨年度受けた(平成20年4月1日～平成21年3月31日まで)
- 昨年度より以前に受けたことがある(平成20年3月31日より前に)
- 受けたことはない・わからない

種類2 大腸がん検診 受診の有無

該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

- 昨年度受けた(平成20年4月1日～平成21年3月31日まで)
- 昨年度より以前に受けたことがある(平成20年3月31日より前に)
- 受けたことはない・わからない

種類3 肺がん検診 受診の有無

該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

- 昨年度受けた(平成20年4月1日～平成21年3月31日まで)
- 昨年度より以前に受けたことがある(平成20年3月31日より前に)
- 受けたことはない・わからない

☆女性のみお答えください

種類4 乳がん検診 受診の有無

該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

- 受けた(過去2年以内)(平成19年4月1日～平成21年3月31日まで)
- 受けたことがある(2年以上前)(平成19年3月31日より前に)
- 受けたことはない・わからない

☆女性のみお答えください

種類5 子宮(頸)がん検診 受診の有無

該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

- 受けた(過去2年以内)(平成19年4月1日～平成21年3月31日まで)
- 受けたことがある(2年以上前)(平成19年3月31日より前に)
- 受けたことはない・わからない

問4-2 各がん検診について受診の機会などについてお伺いします。

→すべてのがん検診を1度も受けたことがない方は、問5へ

次の設問A・Bについて、がん検診の種類ごとに、該当する選択肢の○(マル)を1つだけ塗りつぶしてください。

A どのような機会に検査を受けましたか。

	1 胃がん	2 大腸がん	3 肺がん	4 乳がん	5 子宮がん
職場(職場で指定した会場)の検診で受けた(定期健診、補助を受けての人間ドッグ、被扶養者としての家族検診等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区の検診で受けた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドッグ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

B どこで検診を受けましたか。

	1 胃がん	2 大腸がん	3 肺がん	4 乳がん	5 子宮がん
病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
診療所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検査機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区の施設(保健相談所、健康診査室)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職場(職場で指定した検診会場)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問5 あなたのがん検診に対する考えをお伺いします。これから先、以下に挙げた各がん検診を受診するつもりはありますか？以下から最もあてはまるものを1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 1年以内に受診するつもりはない、これから先もずっと受診するつもりはない	2 1年以内に受診するつもりはないが、いつかは受診したい	3 1年以内に受診するつもりだが、具体的に「どこで何月頃に受診するか」までは決めていない	4 1年以内に受診するつもりで、具体的に「どこで何月頃に受診するか」まで決めている
胃がん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
肺がん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大腸がん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乳がん ☆女性のみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子宮がん ☆女性のみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問6 以下に挙げたそれぞれのがんになることについて、どのくらい心配ですか？

それぞれのがんについて最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 全く心配していない	2 あまり心配していない	3 少し心配している	4 かなり心配している
胃がん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
肺がん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大腸がん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乳がん ☆女性のみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子宮がん ☆女性のみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問7 がん検診を「受けなかった」理由についてお答えください。

問7-1 該当する選択肢の○(マル)を1つだけ塗りつぶしてください。

- 受ける意思はあったが、結果として受けられなかった
- 受ける意思はないため、受けなかった
- なんとなく、受けなかった

問7-2 がん検診を「受けられなかった」、「受けなかった」理由についてお答えください。がん検診の種類ごとに、

該当する選択肢の○(マル)をすべて塗りつぶしてください。

	1 胃がん	2 大腸がん	3 肺がん	4 乳がん	5 子宮がん
がんが見つかったら怖いから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検査に痛みや苦痛があると思うから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
恥ずかしいから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
検査方法を知らないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
がん検診をどこで受ければよいか分からなかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
がんにかかって、通院中であるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
がん検診の検査方法が信用できないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
健康に自信があるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
面倒くさかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
忙しいから(家事、育児、介護等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
費用が高いから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自宅や職場の近くに受診できる場所がないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
夜間や休日などに受診できないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会社の検診内容になかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
勤務時間中に行けないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定員一杯で、希望日に受けられなかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
がん検診の申し込み方法が分からなかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仕事のために行けなかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 8 ご自身、もしくは配偶者の方が勤務されている会社には、がん検診(人間ドックに含まれるがん検診を含む)を受ける事ができる制度がありますか？
それぞれのがんについて最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 制度がある	2 制度がない	3 わからない
胃がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肺がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
乳がん ☆女性のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子宮がん ☆女性のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問 9 練馬区が区民向けのがん検診を実施していることをご存知ですか？
それぞれのがんについて最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 知っている	2 知らない	3 どちらとも言えない
胃がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肺がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大腸がん	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
乳がん ☆女性のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子宮がん ☆女性のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問 10 区のがん検診の案内および個別通知方法についてのご意見をお伺いします。

問 10-1 あなたは練馬区からがん検診のご案内(茶色の封筒)を受け取ったことがありますか？
最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 受け取ったことがある	2 受け取ったことはない	3 覚えていない
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

↓ ↓ ↓

問 10-2 へ 問 11 へ 問 11 へ

5

問 10-2 問 10-1 に「1. 受け取ったことがある」とお答えになった方にお伺いします。

その案内をお読みになりましたか？最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 読んだ	2 ほとんど読まなかった	3 覚えていない
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

↓ ↓ ↓

問 10-3 へ 問 11 へ 問 11 へ

問 10-3 問 10-2 に「1. 読んだ」とお答えになった方にお伺いします。

練馬区からのがん検診の個別案内をお読みになった時にどのような印象をお持ちになりましたか？ それぞれの項目に関して最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 そう思った	2 どちらとも言えない	3 そう思わなかった	4 覚えていない
読みやすい案内だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内容の説明が丁寧だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内容の説明がわかりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報量が多すぎる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
検診の仕組みが複雑だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
どの部分が自分に該当するかわからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問 11 区のがん検診の申し込み方法についてのご意見をお伺いします。

問 11-1 練馬区がん検診をあなたが受診するとした場合、申し込み方法としてあなたが希望する方法はどれですか。当てはまる選択肢すべての○(マル)を塗りつぶしてください。

- 申し込み専用はがきによる申し込み
- 一般の官製はがきによる申し込み
- 保健所や医療機関など検診を行う施設へ直接申し込み
- 電話による申し込み
- インターネットによる申し込み
- ファックスによる申し込み
- その他()

6

問 11-2 練馬区では実際に以下のような方法でがん検診の申し込みを受け付けております。

あなたは以下に挙げた実際の練馬区がん検診の申し込み方法をご存知ですか？
最も当てはまる選択肢1つの○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 知っている	2 知らない	3 どちらとも言えない
がん検診の個別案内で送られてくる申し込み専用はがきによる申し込み	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットによる申し込み	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

↓ ↓ ↓

問 11-3 へ 問 12 へ 問 12 へ

問 11-3 あなたが問 11-2 で「1. 知っている」とお答えになった練馬区がん検診の申し込み方法についてお伺いします。その申し込み方法に対してどのようにお感じになりますか？
それぞれの項目に関して、最も当てはまる選択肢を1つ選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

	1 とてもそう思った	2 そう思った	3 どちらとも言えない	4 そう思わなかった	5 全くそう思わなかった
わかりやすい申し込み方法だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
手間のかからない申し込み方法だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
複雑な申し込み方法だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
面倒くさい申し込み方法だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
何から始めて良いかわからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



問 12 へ

7

問 12 練馬区が実施しているがん検診は、検診費用の一部をご負担いただいております。

あなたは、自己負担をしてもがん検診を受けたいと思いませんか？

最も当てはまる選択肢1つを選んで○(マル)を塗りつぶしてください。

【参考】練馬区の各がん検診の自己負担額：胃がん 400 円・肺がん 300 円(かくたん検査も実施 600 円)・大腸がん 100 円・前立腺がん 300 円・乳がん 900 円・子宮がん 700 円(体部細胞診も実施 1,000 円)

* 75 歳以上、住民税非課税世帯、生活保護等受給世帯の方は自己負担額を免除しています。

	1 はい	2 いいえ	3 わからない
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

質問は以上です。記入もれがないかをご確認のうえ、

同封の返信用封筒に入れて

12月31日(木) までにご返送ください。

ご協力ありがとうございました。

8